

議 会 年 報

令和 7 年議会活動状況

町 田 市 議 会 事 務 局

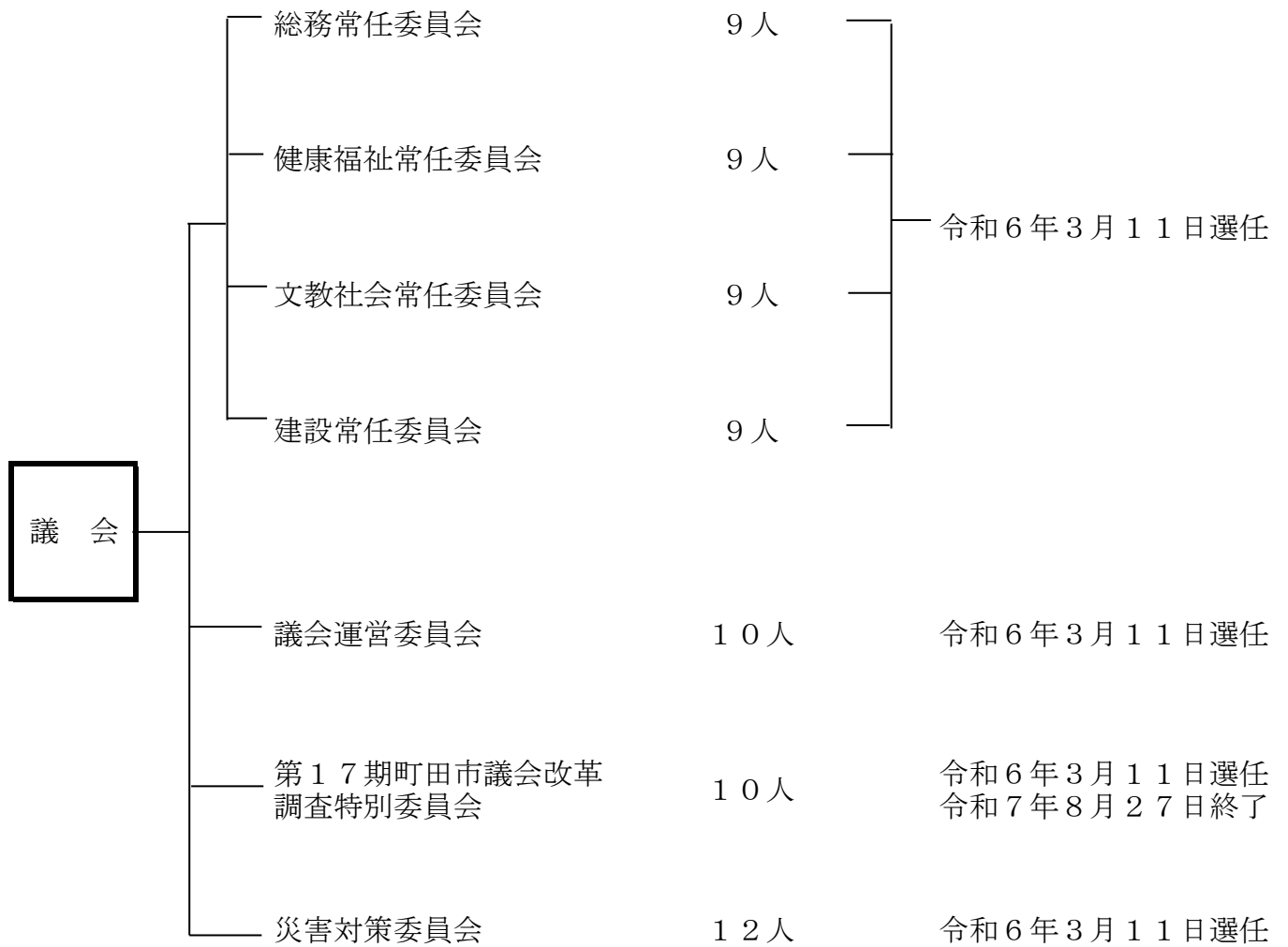
目 次

1. 議会の構成	
(1) 組織	4
(2) 委員の構成	5
(3) 議員	7
2. 議会費	
(1) 令和7年度会計別予算構成表	8
(2) 令和7年度一般会計歳出予算目的別内訳書	9
3. 会議の概要	
(1) 令和7年本会議開催状況	10
(2) 審議の結果	11
(3) 市長提出議案	12
(4) 議員提出議案	18
(5) 委員会提出議案	19
(6) 可決した意見書・決議	20
(7) 請願	42
(8) 陳情	45
(9) 質疑の通告内容	47
(10) 一般質問の内容	73
4. 委員会の概要	
(1) 各委員会の開催状況	85
5. その他の会議の概要	
(1) 全員協議会・法外委員会の開催状況	85
6. 会議の傍聴者	
(1) 令和7年傍聴者数	86
7. 資料	
(1) 歴代の正・副議長	87
(2) 歴代の正・副常任委員長	89
(3) 歴代の正・副議会運営委員長	92
(4) 歴代の正・副特別委員長	93
(5) 歴代の正・副法外委員長	99
(6) 議員・市長等の報酬等月額一覧	101
(7) 議員の期末手当率一覧	102

1. 議会の構成

(1) 組織

議長 木目田英男
令和6年2月22日選出
副議長 おく 栄一
令和7年6月2日選出



(2) 委員の構成

令和7年12月31日現在

イ. 常任委員会

区 分	委 員 構 成	◎委員長	○副委員長
		一部委員の辞任及び就任	
総務 定数 9人	◎ 石川好忠 ○ 中川幸太郎 小野りゅうじ 矢口まゆ 岩瀬和子 今村るか 吉田つとむ 山下てつや	村松としたか 委員長辞任 (25. 4. 18) 石川好忠 委員長就任 (25. 4. 18) 村松としたか 委員辞任 (25. 5. 20)	
健康福祉 定数 9人	◎ 松岡みゆき ○ 笹倉みどり 木目田英男 佐藤和彦 松葉ひろみ 田中美穂 熊沢あやり 藤田学		
文教社会 定数 9人	◎ 佐々木智子 ○ 渡辺さとし 秋田しづか 小野寺まなぶ 戸塚正人 おく栄一 若林章喜 細野龍子 佐藤伸一郎		
建設 定数 9人	◎ 森本せいや ○ 新井よしなお 加藤真彦 おんじょう由久 白川哲也 おぜき重太郎 三遊亭らん丈 殿村健一	東友美 委員辞任 (25. 5. 20)	

ロ. 議会運営委員会

区 分	委 員 構 成	◎委員長	○副委員長
		一部委員の辞任及び就任	
議会運営 定数 10人	◎ 戸塚正人 ○ 加藤真彦 小野りゅうじ 笹倉みどり 小野寺まなぶ おんじょう由久 白川哲也 田中美穂 三遊亭らん丈 新井よしなお	東友美 委員長辞任 (25. 3. 27) 東友美 委員辞任 (25. 3. 27) 戸塚正人 委員長就任 (25. 3. 27) 小野りゅうじ 委員就任 (25. 3. 27) 村松としたか 委員辞任 (25. 5. 20) 小野寺まなぶ 委員就任 (25. 5. 20) おく栄一 委員辞任 (25. 6. 2) おんじょう由久 委員就任 (25. 6. 2)	

ハ. 特別委員会

区 分	委 員 構 成	◎委員長	○副委員長
		一部委員の辞任及び就任	
第17期町田市 議会改革調査 定数 10人	◎ 佐藤和彦 ○ 小野寺まなぶ 小野りゅうじ 加藤真彦 石川好忠 松葉ひろみ 白川哲也 田中美穂 戸塚正人 新井よしなお		

令和4年6月30日設置

令和7年8月27日終了

ニ. 法外委員会

区 分	委 員 構 成	◎委員長	○副委員長
		一部委員の辞任及び就任	
災害対策 定数 12人	◎ 藤田学 ○ 小野寺まなぶ 小野りゅうじ 木目田英男 石川好忠 森本せいや 松岡みゆき 佐々木智子 吉田つとむ おく栄一 若林章喜 細野龍子	村松としたか	委員辞任 (25.4.18) 委員就任 (25.4.18) 委員辞任 (25.6.1) 委員就任 (25.6.2)

(3) 議員 (令和4年2月20日選挙 定数36人)

◎委員長 ○副委員長 △委員

令和7年12月31日現在

議席番号	氏名	所属会派	常任委員会				議会運営	特別委員会	災害対策	年齢	議員歴
			総務	健康福祉	文教社会	建設		議会第17期町田市改革調査			
1	秋田 しづか	諸派			△				45	1	
2	渡辺 さとし	まちだ市民クラブ			○				46	1	
3	小野 りゅうじ	まちだ市民クラブ	△				△	△	48	1	
4	笹倉 みどり	まちだ市民クラブ		○			△		52	1	
5	小野寺 まなぶ	公明党			△		△	○	55	1	
7	木目田 英男	選ばれる町田をつくる会		△				△	51	3	
9	中川 幸太郎	諸派	○						34	1	
10	矢口 まゆ	諸派	△						36	2	
11	加藤 真彦	自由民主党				△	○	△	38	1	
12	石川 好忠	自由民主党	◎					△	71	3	
13	佐藤 和彦	まちだ市民クラブ		△				◎	53	4	
14	森本 せいや	まちだ市民クラブ				◎		△	44	4	
16	松岡 みゆき	無所属		◎				△	64	4	
17	おんじょう 由久	公明党				△	△		63	2	
18	松葉 ひろみ	公明党		△				△	59	3	
19	白川 哲也	選ばれる町田をつくる会				△	△	△	44	4	
20	岩瀬 和子	選ばれる町田をつくる会	△						62	5	
21	田中 美穂	日本共産党		△			△	△	43	2	
22	佐々木 智子	日本共産党			◎			△	70	6	
23	おぜき 重太郎	諸派				△			49	3	
24	三遊亭 らん丈	自由民主党				△	△		66	5	
25	戸塚 正人	まちだ市民クラブ			△		◎	△	45	5	
26	今村 るか	まちだ市民クラブ	△						57	5	
27	新井 よしなお	無所属				○	△	△	51	6	
28	吉田 つとむ	無所属	△					△	77	8	
29	山下 てつや	公明党	△						60	5	
30	おく 栄一	公明党			△			△	71	5	
31	若林 章喜	選ばれる町田をつくる会			△			△	51	6	
32	熊沢 あやり	自由民主党		△					54	6	
33	細野 龍子	日本共産党			△			△	70	7	
34	殿村 健一	日本共産党				△			71	9	
35	藤田 学	自由民主党		△				◎	56	6	
36	佐藤 伸一郎	自由民主党			△				69	6	

2. 議会費

(1) 令和7年度会計別予算構成表（当初予算時点）

（単位：千円）

区 分		2 0 2 5 年 度		2 0 2 4 年 度		比 較		
		予 算 額	構 成 比 (%)	予 算 額	構 成 比 (%)	増 減 額	増 減 率 (%)	
一 般 会 計		193,075,411	58.4	179,282,426	57.3	13,792,985	7.7	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業 会 計	40,057,055	12.1	40,830,084	13.1	△ 773029	△ 1.9	
	介 護 保 険 事 業 会 計	40,916,864	12.4	39,757,155	12.7	1,159,709	2.9	
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業 会 計	14,556,566	4.4	14,136,848	4.5	419,718	3.0	
	鶴 川 駅 南 土 地 区 画 整 理 事 業 会 計	2,237,422	0.7	685,447	0.2	1,551,975	226.4	
	下 水 道 事 業 会 計	21,131,305	6.4	20,494,550	6.5	636,755	3.1	
		収 益 的	12,137,690	3.7	12,099,008	3.8	38,682	0.3
		資 本 的	8,993,615	2.7	8,395,542	2.7	598,073	7.1
	病 院 事 業 会 計	18,529,290	5.6	17,648,667	5.7	880,623	5.0	
		収 益 的	16,409,888	5.0	15,812,233	5.1	597,655	3.8
		資 本 的	2,119,402	0.6	1,836,434	0.6	282,968	15.4
	小 計		137,428,502	41.6	133,552,751	42.7	3,875,751	2.9
	合 計		330,503,913	100.0	312,835,177	100.0	17,668,736	5.6

(2) 令和7年度一般会計歳出予算目的別内訳書

(当初予算時点)

款	2025年度予算額	2024年度予算額	比	構成比 (%)
1. 議会費	645,878	651,715	△5,837	0.3
2. 総務費	22,418,349	19,505,002	2,913,347	11.6
3. 民生費	101,557,996	92,880,475	8,677,521	52.6
4. 衛生費	15,162,447	15,260,300	△97,853	7.9
5. 労働費	39,647	45,156	△5,509	0.0
6. 農林費	292,184	296,287	△4,103	0.2
7. 商工費	1,038,856	1,185,775	△146,919	0.5
8. 土木費	17,202,898	17,425,845	△222,947	8.9
9. 消防費	5,058,487	4,974,463	84,024	2.6
10. 教育費	20,619,136	18,746,597	1,872,539	10.7
11. 災害復旧費	6	6	0	0.0
12. 公債費	8,939,527	8,210,805	728,722	4.6
13. 予備費	100,000	100,000	0	0.1
歳出合計	193,075,411	179,282,426	13,792,985	100.0

3. 会議の概要

(1) 令和7年本会議開催状況

区 分		第1回 定例会	第2回 定例会	第3回 定例会	第4回 定例会	計	
開会月日		2月20日	6月2日	8月27日	11月28日		
閉会月日		3月27日	6月25日	9月30日	12月23日		
会期		36日	24日	35日	26日	121日	
議 案	予 算	14	3	8	5	30	
	条 例	市 長	26	4	9	7	46
		委 員 会	0	0	0	0	0
		議 員	1	0	0	0	1
	議決案		9	6	16	10	41
	承 認		1	4	1	3	9
	認 定		0	0	3	0	3
	同 意		4	0	1	0	5
	諮 問		0	0	0	0	0
	会議規則		0	0	0	1	1
	意 見 書	委 員 会	0	0	0	0	0
		議 員	5	3	2	9	19
	決 議	委 員 会	0	0	0	0	0
		議 員	1	0	1	1	3
	請 願		9	7	6	14	36
陳 情		3	2	3	4	12	

(2) 審議の結果

議決の内容		第1回 定例会	第2回 定例会	第3回 定例会	第4回 定例会	計
市長提出	可 決	54	17	38	25	134
	修正可決	0	0	0	0	0
	否 決	0	0	0	0	0
	撤 回	0	0	0	0	0
	継続審査	0	0	0	0	0
	異議のない 旨答申	0	0	0	0	0
議員提出	可 決	6	1	2	6	15
	修正可決	0	0	0	0	0
	否 決	1	2	1	4	8
	撤 回	0	0	0	0	0
	継続審査	0	0	0	0	0
委員会提出	可 決	0	0	0	1	1
	修正可決	0	0	0	0	0
	否 決	0	0	0	0	0
	撤 回	0	0	0	0	0
	継続審査	0	0	0	0	0
請願	採 択	1	0	2	0	3
	一部採択	0	0	0	0	0
	不採択	7	7	3	12	29
	継続審査	0	0	1	2	3
	取り下げ	1	0	0	0	1
陳情	採 択	0	0	0	0	0
	一部採択	0	0	0	0	0
	不採択	0	0	0	0	0
	継続審査	0	0	0	0	0
	取り下げ	0	0	0	0	0
	参考送付	3	2	3	4	12

(3) 市長提出議案

議案番号	件名	付託月日	付託委員会	議決月日	結果
1	令和6年度(2024年度)町田市一般会計補正予算(第5号)	2月20日	総務 健康福祉 文教社会 建設	2月21日	原案可決
2	令和6年度(2024年度)町田市国民健康保険事業会計補正予算(第3号)	2月20日	健康福祉	2月21日	原案可決
3	令和6年度(2024年度)町田市介護保険事業会計補正予算(第3号)	2月20日	健康福祉	2月21日	原案可決
4	令和6年度(2024年度)町田市後期高齢者医療事業会計補正予算(第3号)	2月20日	健康福祉	2月21日	原案可決
5	令和6年度(2024年度)町田市鶴川駅南土地地区画整理事業会計補正予算(第2号)	2月20日	建設	2月21日	原案可決
6	令和6年度(2024年度)町田市下水道事業会計補正予算(第2号)	2月20日	建設	2月21日	原案可決
7	令和6年度(2024年度)町田市病院事業会計補正予算(第2号)	2月20日	健康福祉	2月21日	原案可決
8	令和7年度(2025年度)町田市一般会計予算	3月5日	総務 健康福祉 文教社会 建設	3月27日	原案可決
	令和7年度(2025年度)町田市一般会計予算に対する修正案	省略	省略	3月27日	否決
9	令和7年度(2025年度)町田市国民健康保険事業会計予算	3月5日	健康福祉	3月27日	原案可決
10	令和7年度(2025年度)町田市介護保険事業会計予算	3月5日	健康福祉	3月27日	原案可決
11	令和7年度(2025年度)町田市後期高齢者医療事業会計予算	3月5日	健康福祉	3月27日	原案可決
12	令和7年度(2025年度)町田市鶴川駅南土地地区画整理事業会計予算	3月5日	建設	3月27日	原案可決
13	令和7年度(2025年度)町田市下水道事業会計予算	3月5日	建設	3月27日	原案可決
14	令和7年度(2025年度)町田市病院事業会計予算	3月5日	健康福祉	3月27日	原案可決
15	町田市外部監査契約に基づく監査に関する条例の一部を改正する条例	3月5日	総務	3月27日	原案可決
16	町田市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	3月5日	総務	3月27日	原案可決
17	町田市市税条例及び町田市個人番号及び特定個人情報の利用等に関する条例の一部を改正する条例	3月5日	総務	3月27日	原案可決
18	町田市手数料条例の一部を改正する条例	3月5日	総務	3月27日	原案可決
19	町田市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部を改正する条例	3月5日	総務	3月27日	原案可決
20	町田市スポーツ推進審議会条例の一部を改正する条例	3月5日	文教社会	3月27日	原案可決
21	町田市国民健康保険条例の一部を改正する条例	3月5日	健康福祉	3月27日	原案可決
22	町田市急患センター条例の一部を改正する条例	3月5日	健康福祉	3月27日	原案可決

議案番号	件名	付託月日	付託委員会	議決月日	結果
23	町田市公衆浴場法施行条例及び町田市旅館業法施行条例の一部を改正する条例	3月5日	健康福祉	3月27日	原案可決
24	町田市子どもセンター条例の一部を改正する条例	3月5日	文教社会	3月27日	原案可決
25	町田市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例	3月5日	文教社会	3月27日	原案可決
26	町田市あきかん・吸い殻等の散乱防止等に関する条例の一部を改正する条例	3月5日	建設	3月27日	原案可決
27	町田市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	3月5日	建設	3月27日	原案可決
28	町田市特定公共物管理条例の一部を改正する条例	3月5日	建設	3月27日	原案可決
29	町田市立公園における移動等円滑化の基準に関する条例の一部を改正する条例	3月5日	建設	3月27日	原案可決
30	町田市立学校設置条例の一部を改正する条例	3月5日	文教社会	3月27日	原案可決
31	町田市学童保育クラブ設置条例の一部を改正する条例	3月5日	文教社会	3月27日	原案可決
32	町田市学校給食問題協議会の設置に関する条例の一部を改正する条例	3月5日	文教社会	3月27日	原案可決
33	町田市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	3月5日	健康福祉	3月27日	原案可決
34	土地の無償貸付について	省略	省略	2月20日	原案可決
35	市道路線の認定について	3月5日	建設	3月27日	原案可決
36	市道路線の廃止について	3月5日	建設	3月27日	原案可決
37	原町田一丁目駐車場及び原町田一丁目第2駐車場の指定管理者の指定について	3月5日	総務	3月27日	原案可決
38	指定金融機関の指定について	省略	省略	2月21日	原案可決
39	権利の放棄について	省略	省略	2月20日	原案可決
40	町田市表彰条例に基づく一般表彰の同意方について	3月5日	総務	3月27日	原案可決
41	町田市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	3月5日	総務	3月27日	原案可決
42	町田市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	3月5日	総務	3月27日	原案可決
43	町田市病院事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	3月5日	健康福祉	3月27日	原案可決
44	町田市一般職の職員の旅費に関する条例	3月5日	総務	3月27日	原案可決
45	町田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	3月5日	文教社会	3月27日	原案可決
46	町田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	3月5日	文教社会	3月27日	原案可決
47	忠生732号線（尾根緑道）道路改良工事（その4）請負契約の変更契約	3月5日	建設	3月27日	原案可決
48	（仮称）町田市中学校給食センター整備・運営事業契約の変更契約	3月5日	文教社会	3月27日	原案可決
49	町田市市税条例の一部を改正する条例	3月27日	総務	3月27日	原案可決

議案番号	件名	付託月日	付託委員会	議決月日	結果
50	町田市監査委員の選任につき同意方について	省略	省略	3月27日	同意
51	町田市教育委員会委員の任命につき同意方について	省略	省略	3月27日	同意
52	町田市農業委員会委員の任命につき同意方及び農業委員の認定農業者過半要件の例外規定適用につき同意方について	省略	省略	3月27日	同意
53	町田市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意方について	省略	省略	3月27日	同意
54	令和7年度(2025年度)町田市一般会計補正予算(第1号)	6月12日	総務 健康福祉 文教社会 建設	6月25日	原案可決
55	令和7年度(2025年度)町田市後期高齢者医療事業会計補正予算(第1号)	6月12日	健康福祉	6月25日	原案可決
56	令和7年度(2025年度)町田市病院事業会計補正予算(第1号)	6月12日	健康福祉	6月25日	原案可決
57	町田市市税条例の一部を改正する条例	6月12日	総務	6月25日	原案可決
58	町田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部を改正する条例	6月12日	文教社会	6月25日	原案可決
59	町田市教育環境整備地区建築条例の一部を改正する条例	6月12日	建設	6月25日	原案可決
60	町田市中学校給食センター条例の一部を改正する条例	6月12日	文教社会	6月25日	原案可決
61	鶴川駅北口広場デッキ整備工事(その2)請負契約	6月12日	建設	6月25日	原案可決
62	土地の買入れについて(原町田特別緑地保全地区・原町田ふるさとの森)	省略	省略	6月2日	原案可決
63	土地の買入れについて(三輪緑地)	省略	省略	6月2日	原案可決
64	2025年度東京都議会議員選挙投票用紙自動交付機購入	省略	省略	6月2日	原案可決
65	(仮称)町田市中学校給食センター整備・運営事業契約の変更契約	6月12日	文教社会	6月25日	原案可決
66	道路上における転倒事故に係る損害賠償請求事件の和解について	省略	省略	6月2日	原案可決
67	令和7年度(2025年度)町田市一般会計補正予算(第2号)	8月27日	総務 文教社会 建設	8月27日	原案可決
68	令和7年度(2025年度)町田市一般会計補正予算(第3号)	9月8日	総務 健康福祉 文教社会 建設	9月30日	原案可決
69	令和7年度(2025年度)町田市国民健康保険事業会計補正予算(第1号)	9月8日	健康福祉	9月30日	原案可決
70	令和7年度(2025年度)町田市介護保険事業会計補正予算(第1号)	9月8日	健康福祉	9月30日	原案可決
71	令和7年度(2025年度)町田市後期高齢者医療事業会計補正予算(第2号)	9月8日	健康福祉	9月30日	原案可決
72	令和7年度(2025年度)町田市鶴川駅南土地地区画整理事業会計補正予算(第1号)	9月8日	建設	9月30日	原案可決

議案番号	件名	付託月日	付託委員会	議決月日	結果
73	令和7年度(2025年度)町田市下水道事業会計補正予算(第1号)	9月8日	建設	9月30日	原案可決
74	令和7年度(2025年度)町田市病院事業会計補正予算(第2号)	9月8日	健康福祉	9月30日	原案可決
75	町田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	9月8日	総務	9月30日	原案可決
76	町田市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	9月8日	総務	9月30日	原案可決
77	町田市手数料条例の一部を改正する条例	9月8日	総務	9月30日	原案可決
78	町田市スポーツ施設条例の一部を改正する条例	9月8日	文教社会	9月30日	原案可決
79	町田市授産センター条例及び町田市大賀藕絲館条例の一部を改正する条例	9月8日	健康福祉	9月30日	原案可決
80	町田市子ども発達センター条例の一部を改正する条例	9月8日	文教社会	9月30日	原案可決
81	町田市原町田一丁目自動車駐車場に関する条例を廃止する等の条例	9月8日	総務	9月30日	原案可決
82	町田市議会議員及び町田市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	9月8日	総務	9月30日	原案可決
83	町田市立学校の学校給食費に関する条例の一部を改正する条例	9月8日	文教社会	9月30日	原案可決
84	小山市民センター空気調和設備改修工事請負契約	9月8日	総務	9月30日	原案可決
85	小山市民センター電気設備改修工事請負契約	9月8日	総務	9月30日	原案可決
86	生涯学習センター機械設備改修工事請負契約の変更契約	9月8日	総務	9月30日	原案可決
87	市道路線の認定について	9月8日	建設	9月30日	原案可決
88	市道路線の廃止について	9月8日	建設	9月30日	原案可決
89	成瀬子どもクラブの指定管理者の指定について	9月8日	文教社会	9月30日	原案可決
90	小山ヶ丘学童保育クラブの指定管理者の指定について	9月8日	文教社会	9月30日	原案可決
91	みわっこ学童保育クラブの指定管理者の指定について	9月8日	文教社会	9月30日	原案可決
92	どろん子学童保育クラブ外2施設の指定管理者の指定について	9月8日	文教社会	9月30日	原案可決
93	小山学童保育クラブ外1施設の指定管理者の指定について	9月8日	文教社会	9月30日	原案可決
94	南第一さくら学童保育クラブの指定管理者の指定について	9月8日	文教社会	9月30日	原案可決
95	金森学童保育クラブ外2施設の指定管理者の指定について	9月8日	文教社会	9月30日	原案可決
96	町田市文化交流センターの指定管理者の指定について	9月8日	総務	9月30日	原案可決
97	町田市民フォーラム共有床の買入れについて	省略	省略	9月8日	原案可決
98	金森五丁目地内外雨水管渠改修工事請負契約	9月8日	建設	9月8日	原案可決
99	木曾中学校後付けエレベーター設置工事請負契約	9月8日	文教社会	9月30日	原案可決
100	町田市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意方について	省略	省略	9月30日	同意

議案番号	件名	付託月日	付託委員会	議決月日	結果
101	令和7年度(2025年度)町田市一般会計補正予算(第4号)	12月10日	総務 健康福祉 文教社会	12月23日	原案可決
102	令和7年度(2025年度)町田市国民健康保険事業会計補正予算(第2号)	12月10日	健康福祉	12月23日	原案可決
103	令和7年度(2025年度)町田市後期高齢者医療事業会計補正予算(第3号)	12月10日	健康福祉	12月23日	原案可決
104	令和7年度(2025年度)町田市病院事業会計補正予算(第3号)	12月10日	健康福祉	12月23日	原案可決
105	町田市公告式条例等の一部を改正する条例	12月10日	総務	12月23日	原案可決
106	町田市ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例	12月10日	文教社会	12月23日	原案可決
107	町田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例等の一部を改正する条例	12月10日	文教社会	12月23日	原案可決
108	町田市建築審査会条例の一部を改正する条例	12月10日	建設	12月23日	原案可決
109	東京都六市競艇事業組合規約の一部を変更する規約	省略	省略	11月28日	原案可決
110	町田市一般廃棄物指定収集袋購入(単価契約)	省略	省略	11月28日	原案可決
111	南市民センター改修工事請負契約	12月10日	総務	12月23日	原案可決
112	鶴川駅北口広場バスシェルター建築工事(3期)請負契約	12月10日	建設	12月23日	原案可決
113	鶴川第四小学校解体工事請負契約	12月10日	文教社会	12月23日	原案可決
114	町田木曾山崎パラアリーナ整備等PFI事業契約	12月10日	文教社会	12月23日	原案可決
115	町田木曾山崎パラアリーナの指定管理者の指定について	12月10日	文教社会	12月23日	原案可決
116	小山子どもクラブの指定管理者の指定について	12月10日	文教社会	12月23日	原案可決
117	損害賠償請求訴訟の提起について	省略	省略	11月28日	原案可決
118	町田市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	12月10日	総務	12月23日	原案可決
119	町田市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	12月10日	総務	12月23日	原案可決
120	町田市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	12月10日	総務	12月23日	原案可決
121	薬師池西公園外10施設の指定管理者の指定について	12月10日	建設	12月23日	原案可決
122	令和7年度(2025年度)町田市一般会計補正予算(第5号)	12月23日	文教社会	12月23日	原案可決

議案番号	件名	付託月日	付託委員会	議決月日	結果
報告1	令和6年度(2024年度)町田市一般会計補正予算(専決第3号)の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	2月20日	承認
報告2	令和6年度(2024年度)町田市一般会計補正予算(専決第4号)の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	6月2日	承認
報告3	町田市市税条例の一部を改正する条例に関する専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	6月2日	承認
報告4	町田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	6月2日	承認
報告5	令和7年度(2025年度)町田市下水道事業会計補正予算(専決第1号)の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	6月2日	承認
報告6	小山田蓮田緑地整備工事請負契約の変更契約に係る専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	8月27日	承認
報告7	令和7年度(2025年度)町田市一般会計補正予算(専決第1号)の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	11月28日	承認
報告8	令和7年度(2025年度)町田市下水道事業会計補正予算(専決第2号)の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	11月28日	承認
報告9	道路上における物損事故に係る損害賠償額の専決処分の承認を求めることについて	省略	省略	11月28日	承認

認定1	令和6年度(2024年度)町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について	9月8日	総務 健康福祉 文教社会 建設	9月30日	認定
認定2	令和6年度(2024年度)町田市下水道事業会計決算認定について	9月8日	建設	9月30日	認定
認定3	令和6年度(2024年度)町田市病院事業会計決算認定について	9月8日	健康福祉	9月30日	認定

(4) 議員提出議案

議案番号	件名	議決月日	結果
1	若者の政治参加を促進する抜本的改革を求める意見書	3月27日	原案可決
2	性犯罪の再犯防止の取組への支援の強化を求める意見書	3月27日	原案可決
3	選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論の促進を求める意見書	3月27日	原案可決
4	町田市議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例	3月27日	原案可決
5	1日も早い被災地の復旧・復興のための被災者生活再建支援法改正の検討を求める意見書	3月27日	原案可決
6	(欠番)	—	—
7	「都議会自民党」の裏金問題の真相解明を求める決議	3月27日	原案可決
8	高額療養費限度額引き上げの撤回を求める意見書	3月27日	否決
9	バス運転士不足の解消等に関する意見書	6月25日	否決
10	児童の「朝の居場所の確保」を図るための措置等に関する検討を求める意見書	6月25日	否決
11	ガソリン税「暫定税率」の廃止ならびに、関連事業者と自治体への財政措置を求める意見書	6月25日	原案可決
12	自動車ユーザーの過重な税負担軽減を求める意見書	9月30日	否決
13	速やかな生活保護費減額分の支給及び利用者への謝罪を求める意見書	9月30日	原案可決
14	第68号議案に対する附帯決議	9月30日	原案可決
15	70億円を超える美術館建設を含む公園整備関連計画を中止し物価高騰対策を優先して実施することを求める決議	12月23日	否決
16	人身取引対策強化を求める意見書	12月23日	原案可決
17	大学入学に係る経済的負担の軽減を求める意見書	12月23日	原案可決
18	スペシャルオリンピックスの開催を求める意見書	12月23日	否決
19	地方の福祉人材確保の取組に向けた財政措置を求める意見書	12月23日	原案可決
20	危機的状況にある自治体病院の存続に向けた財政支援を求める意見書	12月23日	原案可決
21	脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書	12月23日	原案可決
22	「非核三原則」の堅持を強く求める意見書	12月23日	原案可決
23	児童育成手当の増額と対象拡大を求める意見書	12月23日	否決
24	衆議院議員定数削減に反対する意見書	12月23日	否決

(5) 委員会提出議案

議案番号	件名	議決月日	結果
1	町田市議会会議規則の一部を改正する規則	12月23日	原案可決

(6) 可決した意見書・決議

●議員提出議案

若者の政治参加を促進する抜本的改革を求める意見書

我が国の被選挙権年齢は、公職選挙法により衆議院議員・地方議会議員については満25歳以上、また参議院議員については満30歳以上と規定されている。この被選挙権について、最高裁判所においては、被選挙権は選挙権と表裏一体の関係にある重要な権利であり、被選挙権（立候補の自由）は「憲法第15条1項の趣旨に照らし、基本的人権の一つとして、憲法の保障する重要な権利である」（最大判昭和43年12月4日）との見解が示されている。

我が国では、成人年齢および選挙権年齢である満18歳になると、親の同意なしに会社を設立し代表取締役就任することが可能となり、また裁判員や検察審査員として重大な刑事事件等にも関与することが出来るにもかかわらず、被選挙権年齢は満25歳以上となっている。

一方でOECD加盟国では、下院での被選挙権年齢は18歳以上が23か国、60.5%と最も多くなっており、日本の衆議院のように25歳以上というのは、5か国、13.2%と少数派となっているのが現状である。また、選挙権年齢と被選挙権年齢を18歳以上と統一している国も過半数を超えている。

全国町村議会議長会からは、近年の議員選挙において無投票・定数割れが増加しており、このまま増え続けると仮定した場合、次の統一地方選までには全体の3分の1を超える34.1%の町村議会が無投票になる可能性があるとの見解が示されている。このため、地域の代表を選出する選挙を持続するための被選挙権年齢引下げ等の対策が求められている。

よって政府においては、様々な権利が得られると同時に相応の義務を負うことになる成人年齢との均衡や、選挙権年齢と被選挙権年齢を一致させている国際的な潮流を踏まえ、被選挙権年齢については満18歳以上に引き下げるとともに、若者の政治参加を促進するため、立候補時の年齢に応じた供託金の見直しや議員の報酬の在り方、さらには、若者団体の活動継続に必要な支援の在り方等について、抜本的な改革を行うことを要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年（2025年）3月27日

町田市議会議長 木目田 英 男

提 出 先

衆議院議長 額 賀 福志郎 様

参議院議長 関 口 昌 一 様

内閣総理大臣 石 破 茂 様

総務大臣 村 上 誠一郎 様

性犯罪の再犯防止の取組への支援の強化を求める意見書

性犯罪をした者に対して、矯正施設等において再犯防止プログラム等が実施されているが、出所後も地域社会において継続することが重要である。

令和5年3月、法務省は自治体向けに「性犯罪の再犯防止に向けた地域ガイドライン～再犯防止プログラムの活用～」を策定し、このガイドラインを踏まえて、性犯罪の再犯防止に都道府県等が主体となって取り組むことが期待されている。

性犯罪をした者の出所後の住所等については、法務省から情報提供を受け都道府県等が把握する仕組みはなく、実際に当事者に対して直接再犯防止の取組を行うことは困難であるため、一部の都道府県では、子どもに対して性犯罪をした者に、矯正施設等を出所する際に住所等の届出を求める条例を制定し、届け出られた情報をもとに、カウンセリングなどの再犯防止・社会復帰支援を行っている。

こうした条例に基づく届出の仕組みがなくとも各自治体が再犯防止の取組を効果的に進めるためには、国、自治体、関係機関等の連携や性犯罪をした者に係る情報の共有が極めて重要であり、国からのより一層の支援が不可欠である。

よって、町田市議会は政府に対し、下記の事項について所要の措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 性犯罪をした者に対し、矯正施設等を出所した後も自治体による再犯防止プログラム等を受ける意義について啓発を図ること。
- 1 再犯防止プログラム等への参加につなげるため、性犯罪をした者が矯正施設等を出所する際に、当事者の住所等を任意で国に届け出る仕組みをつくり、届け出られた情報を自治体に提供すること。
- 1 自治体では、性犯罪の再犯防止に必要な知識や技術を十分に有していないことから、再犯防止に係る人材の育成について支援すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年（2025年）3月27日

町田市議会議長 木目田 英 男

提 出 先

衆議院議長	額賀	福志郎	様
参議院議長	関口	昌一	様
内閣総理大臣	石破	茂	様
法務大臣	鈴木	馨祐	様
厚生労働大臣	福岡	資麿	様
総務大臣	村上	誠一郎	様

選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論の促進を求める意見書

民法第750条は、「夫婦は、婚姻の際に定めるところに従い、夫又は妻の氏を称する。」とし、我が国では夫婦同姓制度が採られている。このため、婚姻に際しては、夫又は妻のいずれか一方が必ず姓を改めなければならないところであるが、現実には、夫の姓を選び、妻が姓を改める例が95%近くに上っている。名義変更の負担に加え、仕事上の姓（通称）と戸籍上の姓の不一致による不利益などを、特に女性が負っている現実がある。

平成8年、法制審議会は、夫婦が望む場合には、それぞれ旧姓を称することを認める「選択的夫婦別姓制度」の導入を内容とする「民法の一部を改正する法律案要綱」を法務大臣に答申したが、当時は国民の間にも様々な意見があったことから、改正案の国会提出には至らなかった。以降、議論は長年にわたり平行線のまま推移している。

その後、最高裁では、平成27年12月の最高裁判決に引き続き、令和3年6月の最高裁決定においても、夫婦同姓規定が合憲とされる一方、夫婦の姓に関する制度の在り方については、国会で論ぜられ、判断されるべきであるとされたところである。

そのようななか、令和6年6月、経団連は、夫婦別姓を認めない今の制度は、企業にとってもビジネス上のリスクになり得るなどとして、政府に選択的夫婦別姓制度の導入を早期に行うよう提言。同年10月には、国連の女性差別撤廃委員会が、夫婦同姓の強制を廃止するよう4度目の勧告を行っている。これらは、この課題が日本経済上も国際上も影響を及ぼしうるものであることを示している。

法制審議会の答申より30年近くを経た今、再び、選択的夫婦別姓制度の導入をめぐることは、多数のメディアにおいて報道されるなど国民から高い関心が寄せられており、今後の国における議論が注目されている。

国におかれては、選択的夫婦別姓制度の早期法制化に向け、家族の一体感や戸籍制度などを守ることとの両立をはかりつつ、より積極的な議論を行うよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年（2025年）3月27日

町田市議会議長 木目田 英 男

提 出 先

衆議院議長 額 賀 福志郎 様
参議院議長 関 口 昌 一 様
内閣総理大臣 石 破 茂 様
法務大臣 鈴 木 馨 祐 様
総務大臣 村 上 誠一郎 様

1 日も早い被災地の復旧・復興のための被災者生活再建支援法改正の検討を
求める意見書

我が国は、気象的、地形的要因により災害を受けやすく、毎年のように風水害、地震・火山災害など様々な自然災害が多発し、甚大な人的、物的被害が生じている。これらの災害に適切に対処するため、災害予防、災害応急対策から復旧・復興のため、これまで災害対策に関する制度の整備が図られてきたところである。

自然災害により被害を受けた個人に対しても、応急的対策としての災害救助法に基づく救助、災害弔慰金の支給等に関する法律に基づく災害弔慰金、災害障害見舞金の支給、あるいは各種資金の貸し付け等、多様な支援が講じられている。

しかしながら、令和6年1月に発生した能登半島地震と令和6年9月の能登半島豪雨災害の復旧・復興は今なお進んでおらず、基本的な生活基盤である住宅再建のためには、国の支援強化が必要と考える。

政府は、『地域福祉推進支援臨時特例給付金』という住宅再建の支援制度を創設したが、この制度は地域や年収等が限定されており、対象から外れる方がいることから、昨今の急激な物価高騰も踏まえてしっかりと『被災者生活再建支援金』の増額をすべきと考える。

そのため、現行の被災者生活再建支援金の額を最大で300万円から600万円に引き上げること、現在対象となっていない中規模半壊以下の世帯に対して新たな支援金の創設と倍増すること、国庫補助の割合を2分の1から3分の2に引き上げること等の検討が必要と考える。

現在の社会経済情勢のもとで、被災者の生活をその被災実態に応じ、迅速かつ弾力的に支援することにより、一日も早い被災者の生活の立ち上がりを図ることが極めて重要と考えることから、被災者生活再建支援法の改正の検討を国会に求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年（2025年）3月27日

町田市議会議員 木目田 英 男

提 出 先

衆議院議長 額 賀 福志郎 様
参議院議長 関 口 昌 一 様
内閣総理大臣 石 破 茂 様

財務大臣 加藤 勝信 様
総務大臣 村上 誠一郎 様

「都議会自民党」の裏金問題の真相解明を求める決議

2025年1月17日、東京地検特捜部は、政治団体「都議会自民党」の裏金問題で会計担当者の略式起訴を行った。都議側について、金額が数百万にとどまるということから、起訴を見送ったものの、世論の批判は大きい。都議会の自民党会派は政治資金パーティーの収入を政治資金収支報告書に記載していなかった問題で1月23日、記者会見を開き、不記載だった現職16人、元職8人など計26人の氏名と、それぞれの不記載額（最高332万円）を公表しており、政治資金パーティーをめぐる組織的な裏金づくりについて、販売ノルマを超えた収入について、一部を手元に残す、いわゆる“中抜き”を行っていたことは認められている。しかし、時効にかかっている時期も含め、誰が、いつから、どれくらい関与していたのか、何に使ったのかは明らかにされておらず、その真相解明が求められている。

町田市議会は、2024年第1回定例会において「自民党派閥による政治資金パーティーをめぐる裏金問題の真相解明を求める意見書」を全会一致で可決している。市民の政治への信頼を回復させるためには、都議会においても問題の真相解明が大前提である。

よって、町田市議会は、都議会に対し「都議会自民党」の裏金問題についての真相解明の取組を求めるものである。

以上、決議する。

ガソリン税「暫定税率」の廃止ならびに、関連事業者と自治体への財政措置を
求める意見書

依然として物価の高騰が国民の暮らしを直撃している現状に鑑み、ガソリン税の「暫定税率」はただちに廃止すべきである。

また、ガソリン税の「暫定税率」の廃止に伴い、事業者や地方公共団体に影響が出ないよう政府に必要な財政上又は法制上の措置を求める。

- 1 ガソリン税の「暫定税率」をただちに廃止することを求める。
- 2 ガソリン税の「暫定税率」の廃止が円滑に実施されるようにするため、揮発油の製造者又は販売業者に負担を極力及ぼさぬよう、必要な財政上又は法制上の措置を講じることを求める。
- 3 地方揮発油譲与税額の減少が地方公共団体の財政に悪影響を及ぼさぬよう、減収額を地方公共団体に補填するための必要な措置を講じることを求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年（2025年）6月25日

町田市議会議長 木目田 英 男

提 出 先

衆議院議長	額 賀 福志郎 様
参議院議長	関 口 昌 一 様
内閣総理大臣	石 破 茂 様
財務大臣	加 藤 勝 信 様
経済産業大臣	武 藤 容 治 様
国土交通大臣	中 野 洋 昌 様
総務大臣	村 上 誠一郎 様

速やかな生活保護費減額分の支給及び利用者への謝罪を求める意見書

2025年6月27日、2013年から数次にわたり実施された生活保護費減額は違法であるとの原告勝訴の最高裁判所判決が確定した。これは2012年の総選挙に於いて、同年12月に政権復帰した自民党の選挙公約であった生活保護費10%引き下げに沿うべく、厚労省が専門家に諮問して設置していた社会保障審議会・生活保護基準部会の関与のないなかでデフレ調整を厚労省が独自に行ったものである。生活困窮者の窮状を念頭に置かず、第二次安倍内閣の政治圧力と政府、与党への厚労省の忖度に拠って短時日に強行実施決定がなされたという、厚生労働省の生活保護扶助費支給額の引き下げに際し行った「デフレ調整」を、「物価変動率のみを直接の指標として基準の改定率を定めることが専門的知見などと整合すると言うために必要な説明を、国がしたとは言えない。デフレ調整における厚労相の判断の過程及び手続きには過誤・欠落があったと言うべきだ」と断じ、手続きを欺瞞に充ちて杜撰になされたものであると最高裁判所は断罪し、生活保護利用者へ被害の救済を政府、厚労省へ命じた。

しかし、厚生労働省は判決後2ヶ月経過した現時点においても、判決後に厚労省自身が任命した専門家による委員会を設置し、判決内容を検証した後に、期限を定めず、それを踏まえ対応をすることで同省は違法判決の下された不当な保護費削減分の返還に応じないばかりか、謝罪すら行っていない。

生活保護利用者の大半が高齢者と傷病者であり、裁判が提起されて以降10年の長期訴訟となり、原告の2割を超える232人が最高裁判決日直前までに亡くなり、判決後も複数人の原告が亡くなっている。物価高騰の最中に窮乏状態に陥れられている利用者への返還、補償は極めて緊急を要する状況にありながら、以上の如く遺憾な厚生労働省の態度、対応である。

よって、町田市議会は、政府、厚労省に対して速やかな生活保護費減額分の支給及び利用者への謝罪を求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年（2025年）9月30日

町田市議会議長 木目田 英 男

提 出 先

衆議院議長	額	賀	福志郎	様
参議院議長	関	口	昌一	様
内閣総理大臣	石	破	茂	様
厚生労働大臣	福	岡	資麿	様
総務大臣	村	上	誠一郎	様

人身取引対策強化を求める意見書

人身取引は重大な人権侵害であり、人道的観点から迅速かつ的確な対応が求められているとの認識の下、政府においては「人身取引対策行動計画2022」を策定し、各種対策に取り組んできたことは周知の事実である。

ところがホスト、メンズコンカフェをはじめ、DV、貧困、障がいなど様々な問題により、性搾取される少女たちや、大久保公園付近で路上に立たざるを得ない女性がいることなどの報道は後を絶たない。

さらに12歳のタイ人少女が性的サービスを強要させられていた店から今年の9月に東京出入国在留管理局に自ら助けを求め保護されていたことが報道され、「人身取引」に改めて大きな関心が集まっている。

こうしたことに鑑み、町田市議会は政府に対し下記の実現を強く求める。

記

- 1 人身取引に対する対策強化を政府一体となって早急に行うこと
- 2 「人身取引対策行動計画2022」のさらなる実効性強化のため、次期計画策定を早急に取り組むこと
- 3 刑法第226条2（人身売買）における法定刑の厳罰化を検討すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年（2025年）12月23日

町田市議会議長 木目田 英 男

提 出 先

衆議院議長	額 賀 福志郎	様
参議院議長	関 口 昌 一	様
内閣総理大臣	高 市 早 苗	様
法 務 大 臣	平 口 洋	様
外 務 大 臣	茂 木 敏 充	様
厚生労働大臣	上 野 賢一郎	様
総 務 大 臣	林 芳 正	様

大学入学に係る経済的負担の軽減を求める意見書

政府はこれまでも「大学等における修学の支援に関する法律」などを制定し、多子家庭や経済的な理由のある家庭の支援を行い、大学教育の機会均等を保障するなど、子育てに希望を持つことができる社会の実現をもって、我が国の発展にも寄与する大変重要な政策課題として取り組んでいる。

しかしながら、現状の大学入学者選抜制度における「入学金」の取扱いは、受験生や保護者に過度な経済的負担を強いており、若者の進路選択の幅を狭める要因となっている。

特に、複数の大学を受験し、第一志望校の合格発表を待つ間に滑り止め校への入学金納入期限が設定されている「二重払い」問題は深刻である。民間団体の調査によると、入学を辞退した受験生からの入学金収入は全国で年間約355億円に上ると試算されており、これが結果として家庭の経済的負担となっている実態が明らかになっている。

こうした状況を受け、2025年6月文部科学省は私立大学に対し、入学金の納付時期の複数回設定など、負担軽減策を検討するよう「私立大学における入学金に係る学生の負担軽減等について」との通知を出しているものの、全国的な導入には至っていないのが現状である。

よって町田市議会は、我が国の未来を担う若者が経済的理由により進学選択を断念することなく、安心して受験に臨める環境を整備するため、国に対し下記の措置を強く求める。

記

- 1 大学入学金の「二重払い」問題解決に向け、入学しない学生の納付する入学金に係る負担軽減のための方策が多く大学の多くで実施されるように着実に取り組むこと
- 2 我が国の未来を担う若者が経済的理由により大学進学をあきらめることのないよう、大学進学に係る経済的負担軽減のための方策を講ずること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年（2025年）12月23日

町田市議会議長 木目田 英 男

提出先

衆議院議長	額賀	福志郎	様
参議院議長	関口	昌一	様
内閣総理大臣	高市	早苗	様
財務大臣	片山	さつき	様
文部科学大臣	松本	洋平	様
総務大臣	林	芳正	様

地方の福祉人材確保の取組に向けた財政措置を求める意見書

令和6年人事院勧告を受け、国家公務員の地域手当が令和7年4月から改定された。保育所等の公定価格や児童入所施設措置費等、介護・障害福祉サービスの報酬、保護施設事務費等については、国家公務員の地域手当に準拠した地域区分に応じて算定されている。

今回の地域手当の改定に伴い、保育所等の公定価格については、令和7年4月からの見直しは実施せず、引き続き見直し方法について丁寧に議論を進めていくとされた一方、児童入所施設措置費等及び保護施設事務費等については、多くの対象施設が人材確保に苦慮しており、処遇改善が求められている状況であったにもかかわらず、事前に自治体との調整が何ら行われることなく、通知・事務連絡により、令和7年4月から国家公務員の地域手当に準拠して見直しすることとした。この見直しで引下げとなった自治体においては、対象施設の人材確保にさらに大きな支障が生じる恐れがあり、施設入所者に対する支援の質の低下にもつながりかねない状況である。

また、本件について、対象となる施設関係者はもとより、他の社会福祉分野の関係者からも多くの不安の声が上がっている。保育士・幼稚園教諭、児童入所施設職員や介護従事者・障害福祉サービス従事者等の福祉人材については、年間の給与額が全職種平均と比較して低い状況にある。

よって、国においては、今後の地方における福祉人材確保の取組に支障が生じないように、下記の事項について取り組むことを強く求める。

記

- 1 令和7年4月からの地域区分の変更により、児童入所施設措置費等及び保護施設事務費等が引き下げられた自治体に対して、見直し前の水準に戻すために必要な財政措置を講じること。
- 1 今回の見直しの対象とならなかった保育所等の公定価格や介護・障害福祉サービスの報酬等の地域区分について、国家公務員の地域手当に準拠することなく、今後の賃金水準や国における処遇改善の取組を踏まえた適切な水準となるよう、必要な財政措置を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年（2025年）12月23日

町田市議会議長 木目田 英 男

提 出 先

衆議院議長	額 賀	福志郎	様
参議院議長	関 口	昌 一	様
内閣総理大臣	高 市	早 苗	様
財 務 大 臣	片 山	さつき	様
厚生労働大臣	上 野	賢一郎	様
総 務 大 臣	林	芳 正	様

危機的状況にある自治体病院の存続に向けた財政支援を求める意見書

自治体病院は、地域の民間医療機関では採算性の観点から担い難い救急、小児、周産期等の高度医療の実施、さらには感染症や災害対応など、地域の医療提供体制の維持に不可欠な役割を果たしている。

こうした自治体病院の責務を果たすため、多くの自治体は一般会計から多額の拠出金を負担しており、自治体病院は、現在の収支構造では行政の財政負担がなければ持続的な運営はできない。

しかし、公益社団法人全国自治体病院協議会の、令和7年8月の調査結果にもある通り、近年の人件費や物価の高騰により、自治体病院の運営に要する費用が大きく膨らむ一方で、現行の診療報酬はこうした実情に十分対応できておらず、令和6年度決算では、自治体病院の約9割が自治体からの繰出金を入れてもなお、経常収支が赤字となるなど、自治体の財政力を超えて経営環境は大きく悪化している。

このままの状況が続けば、地域住民の生命や健康、さらには社会の安全・安心を支える公的基盤としての自治体病院の役割を果たしていくことはできず、今、まさに周辺市町村も含めた地域の医療提供体制は崩壊の危機に直面している。

よって政府におかれては、地域の医療体制を守る自治体病院の経営改善を図ることは、国の責任において取り組むべき重要な課題と捉え、下記の事項について早急かつ具体的に対応するよう強く要望する。

記

- 1 診療報酬については、物価高騰や賃金等の上昇に適切に対応する仕組みを導入すること。
- 1 特に、令和8年度の診療報酬改定については、入院基本料の大幅な引上げを行うこと。
- 1 自治体病院の経営の現状を考慮し、当面の経営上の危機を回避するためにも、令和8年度の診療報酬改定を待つことなく、人件費や物価高騰など費用増に対応した、緊急的な財政支援を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年（2025年）12月23日

町田市議会議長 木目田 英 男

提 出 先

衆議院議長	額 賀 福志郎	様
参議院議長	関 口 昌 一	様
内閣総理大臣	高 市 早 苗	様
財 務 大 臣	片 山 さつき	様
厚生労働大臣	上 野 賢一郎	様
総 務 大 臣	林 芳 正	様

脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書

脳脊髄液漏出症（脳脊髄液減少症）は、交通事故等を契機に発症し、頭痛やめまい、倦怠感など多様な症状が生じる疾患である。平成28年からは診断基準に基づく硬膜外自家血注入療法（ブラッドパッチ療法）が保険適用となり、専門的な診療体制の整備が進んでいるが、社会的認知はなお十分とは言えない。

脳脊髄液減少症患者・家族支援協会からは、労災保険では障害等級12級の認定が多く行われているが、自賠責保険では後遺障害等級が適切に認定されておらず、多くの患者が救済されていないとの指摘がある。

こうしたことから、脳脊髄液漏出症に苦しむ患者が一人でも多く自賠責保険の後遺障害等級の認定を受け、適切な治療が受けられるよう、支援体制の充実が求められる。

よって政府におかれては、公平性と透明性の高い自賠責保険の後遺障害等級の認定体制を整備し、被害者救済の理念が十分に発揮されるよう、下記の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1 自賠責保険の脳脊髄液漏出症に関する後遺障害等級の認定手続きとして、高次脳機能障害（自賠責保険高次脳機能障害認定システム）と同じように、専門医による認定システム（脳脊髄液漏出症認定システム）の仕組みを構築すること。
- 1 被害者やその代理人及び裁判所等が開示を求めた場合、自賠責保険において後遺障害等級認定を審査した際の根拠資料について、労災保険と同様に、開示される制度とすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年（2025年）12月23日

町田市議会議長 木目田 英 男

提 出 先

衆議院議長 額 賀 福志郎 様

参議院議長	関	口	昌	一	様
内閣総理大臣	高	市	早	苗	様
厚生労働大臣	上	野	賢	一	様
国土交通大臣	金	子	恭	之	様
総務大臣	林		芳	正	様

「非核三原則」の堅持を強く求める意見書

非核三原則は、核兵器を「持たず、つくらず、持ち込ませず」とした日本の国是である。高市首相は「持ち込ませず」の概念が、米国の核抑止力を低下させかねないとして三原則の見直しを持論としており、自民党は、国家安全保障戦略など安保3文書の改訂に向け、非核三原則の見直しを検討している。見直しを許せば、核持込みを平時から認める事で米国の核戦略への加担を一層深め、日本を核戦争の足場にする事につながる。これは、核廃絶を願う被爆者や広島、長崎の人々、市民の思いに背くものであり、核廃絶を目指す国際的な取組に逆行することになる。

昨年、ノーベル平和賞を受賞した日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）も、これまでの政府見解を覆し見直し議論を開始する事について強く抗議している。

また、広島県、長崎県の両知事も「三原則は絶対に守るべきものだ」「被爆県として到底受け入れられない」と述べ、広島市長や長崎市長も三原則の堅持を求めている。

町田市議会は、「日本国憲法に掲げられた平和主義の理念を、市民生活の中に生かすことが、地方自治の基本条件の一つであることにかんがみ『つくらず・持たず・持ち込ませず』の非核三原則が、完全に実施されることを願い、あらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を、全世界に向かって訴えるものである」という「町田市非核平和都市宣言」を持つ市の議会として、非核三原則の見直しを許すことはできない。

よって、町田市議会は、国に対し「非核三原則」の堅持を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年（2025年）12月23日

町田市議会議長 木目田 英 男

提出先

衆議院議長 額 賀 福志郎 様
参議院議長 関 口 昌 一 様
内閣総理大臣 高 市 早 苗 様
外務大臣 茂 木 敏 充 様
防衛大臣 小 泉 進次郎 様
総務大臣 林 芳 正 様

(7) 請 願

請願番号	件 名	受理月日	議決月日	結 果
17 (令和6年)	加齢性難聴者の補聴器購入の助成を早期に求める請願	R6. 8. 27	3月27日	不採択
19 (令和6年)	(仮称) 国際工芸美術館に関し、12月議会において、第114号～116号議案を成立させないことを求める請願	R6. 11. 27	2月21日	取り下げ
1	子どもたちと保護者の声を聴いてください！南成瀬小と南第二小をそのまま存続することを求める請願	R7. 2. 18	3月27日	不採択
2	不登校やいじめ等の課題を配慮して、少なくとも国の適正規模（12学級）をどちらかの学校が下回る実績（実態）ができるまでは、南成瀬小と南第2小の統廃合の延期を求める請願	R7. 2. 18	3月27日	不採択
3	国民健康保険税の値上げを行わないことを求める請願	R7. 2. 20	3月27日	不採択
4	新たな学校づくり第1期：鶴川地域の計画の1年の延期を求める請願	R7. 2. 20	3月27日	不採択
5	公民館の存続を求める請願	R7. 2. 20	3月27日	不採択
6	町田市の多文化共生政策の抜本的な推進を求める請願	R7. 2. 20	3月27日	採択
7	芹ヶ谷公園“芸術の杜”推進事業について2025年度予算<美術館事業>を白紙にすることを求める請願	R7. 2. 20	3月27日	不採択
8	日本政府に核兵器禁止条約の署名、批准を求める意見書提出についての請願	R7. 6. 2	6月12日	不採択
9	擁壁設置工事及びエレベーター設置工事の実施を延期し、近隣住民と協議の場を速やかに設けることを求める請願	R7. 6. 2	6月25日	不採択
10	アート体験棟建設計画の中断を求める請願	R7. 6. 2	6月25日	不採択
11	より開かれた説明会と正確な情報開示を行い「市民が主役の公園づくり」を求める請願	R7. 6. 2	6月25日	不採択
12	子どもの命を守るために再調査報告書の提言の実施を求める請願	R7. 6. 2	6月25日	不採択

請願番号	件名	受理月日	議決月日	結果
13	金井中学校・薬師中学校の統廃合計画の意見表明実施を求める請願	R7. 6. 2	6月25日	不採択
14	新たな学校づくり計画鶴川地域の統合計画変更を求める請願	R7. 6. 2	6月25日	不採択
15	一人一人の子どもの命を大切に通学の安全な体制を求める請願	R7. 8. 25	12月23日	不採択
16	旧本町田小跡地（現ひなた小）にある「希望の森」を生かすことを求める請願	R7. 8. 26	9月30日	不採択
17	国に対する「速やかな生活保護費減額分の支給及び利用者への謝罪を求める意見書」提出を求める請願	R7. 8. 26	9月8日	採択
18	芹ヶ谷公園町田荘跡地擁壁整備工事の着工を延期することを求める請願	R7. 8. 27	9月30日	不採択
19	2025年度に行う鶴川第三小学校の外壁補修工事の実施後に統合を行うことを求める請願	R7. 8. 27	9月30日	不採択
20	町田市高齢者ホーム出張調髪利用券の発行継続に関する請願	R7. 8. 27	9月30日	採択
21	市内ベンチの設置増加とベンチプロジェクトの開始の請願	R7. 11. 25	12月23日	継続審査
22	統合により廃校になる校歌を歌集など活用、受け継がれる「かたち」にすることを求める請願	R7. 11. 26	12月23日	不採択
23	「町田市新たな学校づくり計画」における建設期間中の教育環境のため教員配置の強化を求める請願	R7. 11. 26	12月23日	継続審査
24	本町田ひなた小学校の体育館を1階に設けることを求める請願	R7. 11. 26	12月23日	不採択
25	誰もが安心して通える学校にするために教職員が信頼して相談し支え合って子どもの気持ちに寄り添うことを求める請願	R7. 11. 26	12月23日	不採択
26	成瀬小学校にも本町田ひなた小学校と同様に小荷物専用昇降機（給食用）の設置を求める請願	R7. 11. 27	12月23日	不採択

請願番号	件名	受理月日	議決月日	結果
27	成瀬小学校の体育館を基本的に1階に、2階の場合は少なくとも1階からのスロープの設置を求める請願	R7. 11. 27	12月23日	不採択
28	高ヶ坂小学校の存続を求める請願	R7. 11. 27	12月23日	不採択
29	地域活用型学校を学校教育という観点からの再検討を求める請願	R7. 11. 28	12月23日	不採択
30	バス減便と運転手不足の問題解決を求める請願	R7. 11. 28	12月23日	不採択
31	町田市の学校をなくさないことを求める請願	R7. 11. 28	12月23日	不採択
32	野津田公園南口転回広場整備工事を一時中断し計画の再考を求める請願	R7. 11. 28	12月23日	不採択
33	町田市議会9月定例議会で可決された附帯決議を尊重し、(仮称)国際工芸美術館整備工事の参加要件の見直しを求める請願	R7. 11. 28	12月23日	不採択

(8) 陳 情

陳情 番号	件 名	受理月日	付託 月日	議決 月日	結 果
1	市民と共に「いじめ」「自殺」「児童虐待」「犯罪」等を減らす取り組みについての陳情	R7. 1. 14	—	—	全議員 参考送付
2	議会の審議において、どの議員が、どの議案に「賛成」「反対」「棄権」したかが分かるような図をつくり、自治体のホームページで公開することに関する陳情	R7. 1. 14	—	—	総務 常任委員会 参考送付
3	国に対して、対外的情報省を設立、横田基地空域の航空管制の返還を求める意見書の提出に関する陳情	R7. 1. 27	—	—	全議員 参考送付
4	陳情書	R7. 5. 30	—	—	全議員 参考送付
5	あはき・柔整広告ガイドラインの適正かつ積極的な運用を求める陳情	R7. 5. 30	—	—	健康福祉 常任委員会 参考送付
6	国に防衛力強化の一環として、食料安全保障を重要視することに関する陳情	R7. 7. 28	—	—	全議員 参考送付
7	国民健康保険の加入者に対する資格確認書の一斉交付を求める陳情書	R7. 8. 4	—	—	健康福祉 常任委員会 参考送付
8	公共施設内での労組加入、政党機関紙の勧誘等に関する調査及び是正を求める陳情	R7. 8. 27	—	—	総務 常任委員会 参考送付
9	町田市内の小・中学校における「いじめ」をなくす取り組みに関する陳情	R7. 11. 19	—	—	文教社会 常任委員会 参考送付
10	臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情	R7. 11. 21	—	—	全議員 参考送付

11	陳情書	R7. 11. 27	—	—	総務 常任委員会 参考送付
12	地方消費者行政の維持・強化のための対策を求める意見書を国会等に提出することに関する陳情	R7. 12. 18	—	—	全議員 参考送付

(9) 質疑の通告内容

第1回定例会

まちだ市民クラブ (65分)

発言 順位	1	議席 番号	25	議員名	戸塚正人 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P.3)	<p>(1) 現状の社会経済についての認識について、施政方針では「物価高騰と同時に、長らく低迷を続けてきた賃金の上昇もあり、インフレが進んでいる。」としている。その一方賃金が上昇している中で、物価上昇に賃金が追いついておらず、特に現役世代の市民生活は厳しい状況にあると考える。現に町田市においても2025年度は、市税収入が過去最高額の727億円を計上しているが、物価・資材・労務費の高騰や高齢化の影響もあり依然として財政状況は厳しいと認識している。市長はこの様な社会経済状況において、将来的に自治体としてどのような市政運営が必要であると認識しているか。</p> <p>また、あらゆる業種で人材不足が懸念される中で、市内事業者も事業継続が厳しいという声を聞くが、これに対し自治体の役割をどのように認識しているか。とりわけ公共工事について、物価資材高騰や労務単価の上昇などの影響が町田市でも顕著となっているが、今後の公共工事に対する考え方はあるか。</p>				

発言 順位	1	議席 番号	25	議員名	戸塚正人 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P.5)	<p>(2) 「町田市らしさを強みに、まだまだ多くの方々に期待をしていただき、魅力を感じていただけるようなまちづくりを進めていく」とあるが、特段FC町田ゼルビアの盛り上がりについては、スポーツを通じて町田を全国に広め、市民に多くの一体感を生んでいると感じる。その一方で、経済効果を最大限に引き出すという課題も非常に感じる。FC町田ゼルビアのJ1での活躍を鑑み町田市はどの様に経済効果を生んでいくつもりなのか。</p> <p>町田市はこれまで経済効果を見込んで野津田陸上競技場に投資をしてきた。FC町田ゼルビアがJ1昇格し、市民の一体感や町田市の知名度向上などの効果は理解しているものの、経済効果についても調査検証し、商店街など関係諸団体とも連携し費用対効果を突き詰める必要があるがどうか。</p>				
(P.7)	<p>(3) 「『(仮称)町田市子どもマスタープラン25-34』がスタートするにあたり、施策の評価にユニセフ、国連児童基金のグローバルな基準を取入れ、取組みの質を高めていく」とあるが、具体的にどの様な基準を設け、質を高めるつもりなのか。</p>				

発言 順位	1	議席 番号	25	議員名	戸塚正人 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P.8)	<p>(4) 東京都内でも待機児童が比較的多い町田市において、9月から予定している保育料無償化による影響をどの様に捉えているか。</p> <p>現状の待機児童数や需要の上昇を考えると保育料の無償化によって更に待機児童数が膨れ上がる可能性がある。この様な状況において町田市の対策はあるか。また、東京都は高校医療費無償化についても恒久的な補助制度であるべきところで期限を設けて結果的に自治体の財政圧迫となる懸念を生む。今回の保育料無償化においても期限を設ける可能性がある。東京都に恒久的な補助制度とするよう、要請していく必要はないか。</p>				
施政方針 (P.9)	<p>(5) 「町田市新たな学校づくり推進計画」について、2024年度において経済・財政状況や人口統計などを鑑みて見直しを検討したが、どの様な見直し内容となるのか。</p>				
予算概要説明書 (P.42)	<p>また、今後一部の対象校で検討されているスクールバス導入については、どの様な検討がされているのか。</p> <p>これまで議論をしているように、この際、様々な市政課題に対し網羅できる様なスクールバスプロジェクトとするべきと考える。今回のスクールバスの検討プロジェクトチームについて、どの様なスクールバス導入を目指すつもりなのか、その方向性について問う。</p>				

発言 順位	1	議席 番号	25	議員名	戸塚正人 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P.10) 予算概要説明書 (P.44)	<p>(6)「町田駅周辺開発推進計画」について、この計画は多摩都市モノレールの延伸の受け入れ整備の意味合いもあると認識している。以前は2032年の開通目標で町田市は進めてきたが、現状多摩都市モノレールがいつ延伸する目標で整備計画を進めるのか。</p> <p>また、開発を推進する各地区の整備計画はどのようなものか。特段D地区の整備計画については、整備する施設に対し様々な方面よりご意見がきていると思うが、音楽ホールやシネマコンプレックスなどの整備をすることで決定したと考えていいのか。とりわけFC町田ゼルビアのJ1昇格に伴い関係者の中で町田駅前にスタジアム建設を望む声が多くある。こうした声に対する町田市の見解はどうか。</p>				

発言 順位	1	議席 番号	25	議員名	戸塚正人 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P. 11) 予算概要説明書 (P. 60)	<p>(7) 芹ヶ谷公園“芸術の社“について、2029年度のオープンを目指して進めるとのことだが、現在1月から着工予定であった(仮称)国際工芸美術館整備事業は仮契約した事業者から仮契約解除を申し出されている状況にある。まず、仮契約解除はどのような要因でこのような事態となったのか。また、3回の入札中止や実質3回の増額予算措置を行い、CM(コンストラクションマネジメント)を行った結果としてこのような事態となった。このような状況の中で事業者公募を行い、2026年3月からの着工というスケジュールは事業者決定も含めて本当に実効性があるのか極めて疑念を感じざるを得ない。どのようにこのスケジュール変更の実効性を担保するのか。</p> <p>我々市議会としても契約議案を可決した責任があり、大変重い事態として受け止めている。今後訴訟などの可能性があることから要因などについて公での説明が出来ないとの考えに一定の理解はするものの、然るべきタイミングで然るべき情報を市議会に適宜報告するべきと考えるがどうか。</p>				
施政方針 (P. 14)	<p>(8) 防災について、避難施設の環境整備や情報提供強化、マンション・団地の防災対策「町田市版マンション防災」など防災力強化に努めるとあるが、自治会・町内会の加入率も年々低下し、地域の連帯性が薄れている中で、どのように地域における自助・共助を最大限に発揮していくのか。</p>				

発言 順位	1	議席 番号	25	議員名	戸塚正人 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
第8号 予算概要説明書 (P.32)	<p>(1) (仮称) 子ども・子育てサポート等複合施設整備等事業について、公募中止となったことによる施設整備のスケジュールや児童相談所への影響はあるのか。また、今回CM(コンストラクションマネジメント)を行う必要性について、どの様に考えているのか。</p>				
(P.77)	<p>(2) 公共施設等マネジメント事業について、「町田市公共施設等総合管理計画」及び「町田市公共施設再編計画」を同時改定することだが、どの様な改定を行うのか。町田市のねらいは何か。</p> <p>また、今回の予算の中でCM(コンストラクションマネジメント)を採用する案件とそうでない案件が散見され、PFI方式による入札方法についても採用するものとそうでない案件がある。この様な対応について、どの様な判断基準により進めているのか。</p>				

発言 順位	2	議席 番号	4	議員名	笹倉みどり (個人質疑)
議案番号	区分	事業名 (ページ)	要 旨		
第8号	歳出	1.野津田公園 スポーツの 森整備事業 (予算概要 説明書P.56 ～57)	<p>(1) スケートパーク整備について 相次ぐ公共工事の契約不調、物価高騰による工事金額の上昇もふまえ、なぜこのタイミングで利用者が限られるスポーツ施設を建設するのか、市の考えを問う。</p> <p>(2) 南側入口転回広場について 受益者も、利用日数も限定的である「転回広場」として整備する理由は。</p> <p>(3) 南側入口転回広場が整備されることにより、展望広場前のバスの乗降が解消されるのか緩和されるのか。市の考えは。</p> <p>(4) 本整備事業により失われる自然環境の回復について市の考えは。</p>		

公明党（55分）

発言 順位	3	議席 番号	17	議員名	おんじょう由久 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P.7)	(1) 子どもにやさしいまちの理念をより浸透させ、市民の 当り前の行動に繁げていくために、今後、どのような 体制で、取り組みを実施していくのか。				
(P.8)	(2) 多様化する子どもの養育環境に合わせた支援のため、 児童相談所や子ども家庭支援課、教育センター、保健 所など関係機関の連携は、虐待の未然防止の観点から も重要と考えるが、今後、どのような体制を築き、対 応していく考えか。				
(P.8)	(3) 今後の保育ニーズの動向を踏まえ、認可保育所を始め とした保育所等の整備運営をどのように進めていくの か。				
(P.9)	(4) 今後も建設費の増加が見込まれており、こうした環境 変化の中で、今後、「学校統合」をどのように進めてい く考えか。また、「地域活用型学校」としてどのような 学校を目指し、学校統合に伴う跡地をどのように活用 していく考えか。				
(P.9)	(5) 中学校全員給食の開始後、生徒や保護者からどのよう な声が寄せられているか。また、今後、中学校給食セ ンターの機能を活かし、どのように運営していく考え か。				
(P.9)	(6) 学校給食費無償化により子育て世帯の経済的負担の軽 減を図るとあるが、学校教育に係る経済的負担のさら なる軽減についての考えは。				
(P.10)	(7) どのように中心市街地を多くの人々にとって魅力ある まちとしていくか、考えを問う。				

発言 順位	3	議席 番号	17	議員名	おんじょう由久 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P.12)	(8) 木曾山崎団地地区のまちづくりにおいて、どのように若い世代を呼び込み、地域と共にまちづくりを進めていく考えか。				
(P.13)	(9) 市内全域でのプラスチック分別収集開始に向けて、分別協力率の向上のため、どのように啓発していく考えか。また、効率的なプラスチックの資源化を実現するために今後どのように取り組んでいく考えか。				
(P.14)	(10) 市民の安全を守るため、今後、町田市はどのように防犯対策に取り組む考えか。				
(P.15、16)	(11) 多様な主体が互いに認め合える、共生社会の実現に向けた市長の思いは。				

発言 順位	4	議席 番号	30	議員名	おく栄一 (個人質疑)
議案番号	区分	事業名 (ページ)	要 旨		
第8号	歳出	1. 高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業 (予算概要説明書 P.69)	(1) 予算計上の経緯は。 (2) 予算の内訳は。 (3) 財源の内訳は。		

自由民主党（50分）

発言 順位	5	議席 番号	12	議員名	石川好忠 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
第8号	<p>(1) 令和7年度当初予算について</p> <p>①令和7年度(2025年度)の予算編成の考え方は。また町田市5カ年計画22-26で示した財政見直しに対する予算の進捗状況は。</p>				
<p>施政方針</p> <p>(P.4)</p> <p>(P.7)</p> <p>(P.8)</p> <p>(P.9)</p>	<p>(1) 市政運営の視点について</p> <p>①地域コミュニティのあり方について</p> <p>地域コミュニティのあり方を捉え直す上での市長の考えは。また、地域活用型学校は地域コミュニティの中で、どのような役割を果たしていくのか。</p> <p>(2) ここでの成長がカタチになるまちをつくる取り組みについて</p> <p>①子どもにやさしいまちづくりについて</p> <p>子どもにやさしいまちの実現に向けた今後の展望は。また、「(仮称)町田市子どもマスタープラン25-34」は、どのような考え方で策定し、どのように取り組んでいくのか。</p> <p>②保育所等における待機児童の解消について</p> <p>市の待機児童対策における市長の考え方は。</p> <p>③新たな学校づくりについて</p> <p>「新たな学校づくり推進計画」を一部修正することとした背景と変更内容は。</p>				

発言 順位	5	議席 番号	1 2	議員名	石川好忠 (代表質疑)
議案番号等		要 旨			
<p>施政方針</p> <p>(P. 10)</p> <p>(P. 11)</p> <p>(P. 13)</p> <p>(P. 15)</p> <p>(P. 17)</p> <p>(P. 20)</p>	<p>(3) わたしの“ココチよさ”がかなうまちをつくる取り組みについて</p> <p>①町田駅周辺の中心市街地の再整備・再開発について 中心市街地の再整備・再開発にかける市長の思いは。 また、「町田駅周辺開発推進計画」における、まちのコンセプトと、まちに持たせていく機能は。</p> <p>②多摩都市モノレールの町田方面延伸と沿線まちづくりについて 交通基盤の新しい姿を具体的に示すための検討についての取り組みは。モノレール沿線となる木曾山崎団地地区は、今後どのようにまちづくりを進めていくのか。</p> <p>③環境負荷軽減の取り組みについて 環境負荷軽減の取り組みについての市長の認識は。今後市としてどのように進めていくのか。</p> <p>(4) 誰もがホッとできるまちをつくる取り組みについて</p> <p>①まちだ福祉〇ごとサポートセンターについて まちだ福祉〇ごとサポートセンターは、今後、地域の中でどのような役割を担っていくのか、市長の考えは。</p> <p>(5) みんなの“なりたい”がかなうまちをつくる取り組みについて</p> <p>①様々な主体とのオープンイノベーションについて オープンイノベーションについて、市長の考えは。</p> <p>②町田市職員人材育成総合プランの取り組みについて 「町田市職員人材育成総合プラン25-29」は、どのようなものか。 人材獲得競争が激しい中で、どのように職員を採用していくのか。どのように職員を育成していくのか。市長の考えは。</p>				

日本共産党（45分）

発言 順位	6	議席 番号	33	議員名	細野龍子 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P.5)	(1) 「町田市のまちづくりは…人と人とのつながりを軸に、次世代につながるまちの好循環を生み出し、魅力を高め続けていくこと、このことがまちの未来の舵取りを任された私の責務」とはどういうことか。地方自治法の目的に定められた「住民の福祉の増進」に照らして説明されたい。				
(P.7)	(2) 「町田市子どもにやさしいまち条例」における子どもの権利擁護のための第三者機関設置の必要性について、市長の見解を問う。				
(P.8)	(3) 2025年度から児童相談所と子ども家庭センターが連携を密にしていくというが、地域との連携をどのようにするのか、見解を問う。				
(P.9)	(4) “まちだの新たな学校づくり”の学校統合が今後の象徴となる取り組みと述べているがどうということか。市民の要望に応え、地域の学校を存続し、安全でゆきとどいた教育を目指すべきだが、市長の見解を問う。				
(P.10)	(5) 「町田駅周辺開発推進計画」における2025年度の事業内容は何か。予測される事業の予算規模と今後の市財政への影響について問う。また、駅周辺商店街と森野住宅住民への影響と対策について、どのように検討しているのか問う。				

発言 順位	6	議席 番号	3 3	議員名	細 野 龍 子 (代表質疑)
議案番号等		要 旨			
施政方針 (P. 11)	(6) 芹ヶ谷公園“芸術の杜”について、2029年度のオープンを目指すとしているが、公園の自然を壊す斜面地への「(仮称) 国際工芸美術館」の整備について、いまだ市民の理解は得られていない。「計画」の見直しを求める市民の声にどのように応えるのか、市長の見解を問う。				
(P. 11)	(7) 多摩都市モノレール町田方面延伸について、2025年度東京都と連携して行う「事業性の検証」の内容は何か。また、モノレール開業までの沿線地域の住民の交通利便性の向上にどのように取り組まれるのかを問う。				
(P. 11)	(8) 「町田市木曽山崎団地地区まちづくり構想」の改定のコンセプトを問う。改定にあたっては、学校を残し、住民だれもが安心して住み続けられるまちづくりを基本にすべきだが、どうか。				
(P. 12)	(9) 「日常的にみどりに触れられる、感じられる環境があり、それらを整え、次世代に引き継ぐ」といいながら、野津田公園の上の原原っぱをバスの転回広場に変え、湿生植物園をスケートパークにすることは矛盾している。野津田公園の豊かな自然環境を守るために、町田市第2次野津田公園整備基本計画を変更すべきだが、市長の見解を問う。				
(P. 13)	(10) 「第3次町田市環境マスタープラン」の温室効果ガス排出量の削減目標の引き上げについて、目標値設定の考え方と町田市、事業者、市民の具体的な取り組みについて問う。				
(P. 16)	(11) 「(仮称) 町田市手話言語条例」を定める意義と、検討の進め方について市長の見解を問う。				

発言 順位	6	議席 番号	3 3	議員名	細 野 龍 子 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P. 21)	(12) 「公共施設の再編」の計画のうち、2025 年度に予定される事業と内容を問う。鶴川図書館を廃止し、さるびあ図書館を中央図書館と統合することは市民の要望に背くことになるが、見解を問う。また、公共施設整備における P F I 手法の活用の考え方について問う。				

発言 順位	7	議席 番号	2 2	議員名	佐々木智子 (個人質疑)
議案番号	要 旨				
第 2 1 号	(1) 改正の目的・内容・算出根拠を問う。 (2) 被保険者への影響について問う。				
第 8 号 予算概要説明書 (P. 94) 企画費 事業・ 事務委託料 (調査研究)	(1) 目的と内容を問う。				

選ばれる町田をつくる会（４５分）

発言 順位	8	議席 番号	3 1	議員名	若 林 章 喜 (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針					
(P. 5)	(1) これからの都市づくりについて、市長の考えは。				
(P. 8)	(2) 困難を抱える子どもと子育て家庭への支援について、都立児童相談所の設置による効果は。				
(P. 9)	(3) 学校にいけない子どもたちへの支援について、市長の考えは。また、分教室型学びの多様化学校と、教育支援センターとの役割分担は。				
(P. 10)	(4) 中心市街地の賑わい空間の創出について、原町田大通りのリニューアルに込めた市長の想い、今後の期待は。また、町田駅前交流拠点「はっとまちだ」の機能と名称の由来は。				
(P. 12)	(5) 鶴川駅周辺のまちづくりについて、駅周辺の再整備でまちはどのように賑わっていくのか。また、鶴川香山園のコンセプトと、鶴川エリアの活性化についての市長の考えは。				
(P. 14)	(6) 地域防災について、市長の考えは。また、在宅避難支援については、どのような考えで取り組んでいくのか。				
(P. 18)	(7) 「オープンデータ ファクトリーまちだ」について、構築の背景は。また、どのような効果を期待しているか。				
(P. 19)	(8) 行政のデジタル化について、今後の取り組みへの市長の考えは。				
(P. 20)	(9) 未来に向けた財政運営について、どのような考え方で財政運営を行っていくのか。また、どのように未来への投資を実行していくのか。				
(P. 21)	(10) 公共施設再編について、物価高騰や人手不足の中で、どのように進めていくのか。				

無所属（40分）

発言 順位	9	議席 番号	16	議員名	松岡みゆき (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P.10)	(1) 昨年の6月に「町田駅周辺開発推進計画」を策定したが、その実現に向けて、どのように進めていくのか、市長の考えをお聞かせください。				
(P.11)	(2) 多摩都市モノレールの町田方面延伸は、東京都との連携を図り、事業性の検証を行い、開業までのプロセスを着実に進めるとあるが、モノレール開業までのプロセスについてお聞かせください。				
(P.13)	(3) 温室効果ガス排出量の削減目標の引き上げや重点プロジェクトを追加するなど、「ゼロカーボンシティ」実現に向けた取り組みをより強力で進めるため、「第3次町田市環境マスタープラン」を一部改定することだが、近年、猛暑日が増加傾向にあるなど、地球温暖化の影響は深刻化している。こうした影響に対して、「第3次町田市環境マスタープラン」では、どのような施策を掲げ、どのように取り組んでいくのかお聞かせください。				
(P.14)	(4) 地域における自助・共助の力が最大限に発揮され、まち全体の防災力が高められるよう、市として確実に情報を届けていくことが重要とあるが、市民一人ひとりが平時からの備えや非常時における適切な行動を取るために、市はどのような取り組みを行っているのかお聞かせください。				
(P.15)	(5) 闇バイトを発端とする強盗事件や特殊詐欺が全国的に多発しており、市においても、地域の防犯対策が喫緊の課題とあるが、課題解決に向けた取り組みについてお聞かせください。				

発言 順位	9	議席 番号	16	議員名	松岡みゆき (代表質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P. 19)	(6) 全国初のオンライン行政手続検索サービス「AIナビゲーター」を導入したとあるが、その反響と周知についてお聞かせください。				
(P. 19)	(7) 介護認定審査会について会議のオンライン化と、資料のペーパーレス化を進めるとあるが、どのように進めてきたのかお聞かせください。				
(P. 5、9、11、 12)	(8) 町田市のまちづくりは“人が主役”とありますが、学校統合や2029年度のオープンを目指す芹ヶ谷公園の芸術の杜、野津田公園スポーツの森のスケートパーク等の整備について、市民と共に事業を進めていくべきと思うが、市長の考えをお聞かせください。				

諸派（15分） ※他の諸派議員（秋田しづか議員）より譲り受けた5分含む

発言 順位	10	議席 番号	10	議員名	矢口まゆ (個人質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P.7~8)	<p>施政方針において、全ての部署、あらゆる事業において、子ども視点のまち作りを一層推進していくとのことであるが、そのために必要な具体的な仕組みについてうかがう。</p> <p>(1) 施政方針では9月からの第一子保育料無償化に向けて動向を注視し準備を進めるとのことであるが、第一子無償化を見据えた保育ニーズの想定量はいつ算出し、整備計画に反映するのか。また、保育ニーズがより高まる中、園庭の確保などはより難航すると考えられるが、園庭確保のためにどのような対応ができるか。</p>				
第8号 予算概要説明書 (P.195)	<p>(1) 保育の質の向上推進事業が拡充されるとのことであるが、ここには保育サービスの提供者の働ける環境に関する記載のみとなっている。利用者から不適切な保育及び教育に関して相談があった場合、子どもには事実関係の説明が難しく、事実確認が難しいことも予想される。そのような事実確認ができない場合に、保育幼稚園費の中で実際にどのような取り組みをするのか。</p>				
(P.200)	<p>(2) 学童保育の育成環境の改善とあるが、具体的に何を改善したいと考えているのか。また、学童をやめる子どもや、学童に来られなくなっている子どもたちへのヒアリングなど、子どもの視点から、どのような改善が必要かの検討は行われているか。</p>				
(P.37)	<p>(3) 学校給食の無償化後、食材費の改定はどのような流れで行われ、また改定の要不要の判断や改定額の判断はどのような情報を元に誰が決めていくことになるのか。</p>				

諸派（10分） ※他の諸派議員（中川幸太郎議員）より譲り受けた5分含む

発言 順位	11	議席 番号	32	議員名	熊沢あやり (個人質疑)
議案番号等	要 旨				
施政方針 (P.5、7)	<p>(1) これからの都市づくりは、ワクワクする体験ができるエンターテインメントや心なごむ憩いの空間など、“みんなが楽しめるまち”がキーワードであり、人と人が交流し、みんなの夢をかなえていくことができる町をめざしていきたい。</p> <p>子どもたちが健やかに成長し、主体的に行動できるようになるためには、子どもたち自身でやりたいことを見つけ、積極的にチャレンジすることの積み重ねが大事とあるが、想定しているものはあるのか。</p>				
第8号 予算概要説明書 (P.34) 子どもクラブ整備事業	<p>(1) 金井・薬師子どもクラブについて</p>				

第2回定例会

◎条例・その他

発言 順位	1	議席 番号	35	議員名	藤田学
議案番号	要 旨				
第59号	(1) 新たな学校づくり建設予定地で活用を図る上での、都市計画法等の対応を講じる必要について (2) 第三種教育環境整備地区、第四種教育環境整備地区とする基準と内容について (3) 教育委員会の関わりについて				
発言 順位	2	議席 番号	22	議員名	佐々木智子
議案番号	要 旨				
第59号	(1) 第4条の改正の目的と内容を問う。 (2) 第5条、第8条、第9条の改正の理由と内容を問う。				

発言 順位	3	議席 番号	10	議員名	矢口まゆ
議案番号	要 旨				
第58号	<p>(1) 3月議会の時点では、無償化の影響については、まずは4月の待機児童数を確認した上で整備計画上の保育ニーズの想定量との比較を行うとのことであった。比較ではどのような結果がでたか。</p> <p>(2) 東京都に対して、無償化により増加するであろう待機児童への対策に必要となる補助の拡充はお願いしたか。</p> <p>(3) 無償化実施後にはさらに待機児童が増える可能性があるが、国や都の待機児童に使える補助金は最大限に活用できているのか。</p> <p>(4) 町田市の立地上、保育の無償化実施後には神奈川県からの子育て世帯の流入が想定される中で、隣接自治体との広域的協力体制による対策は検討しているのか。</p>				
第60号	<p>(1) 工事遅延の要因となった天候による影響は、予測困難なものだったのか。契約上の不可抗力という解釈なのか。</p> <p>(2) 予備日程の設定がないなど、工事スケジュールが余裕のないものになっていたなどの実態はあるのか。</p> <p>(3) 不可抗力以外の理由で工事遅延となった場合にはどのような対応をするか当初から取り決めはあったのか。</p>				
第65号	<p>(1) 工事遅延の要因となった天候による影響は、予測困難なものだったのか。契約上の不可抗力という解釈なのか。</p> <p>(2) 予備日程の設定がないなど、工事スケジュールが余裕のないものになっていたなどの実態はあるのか。</p> <p>(3) 不可抗力以外の理由で工事遅延となった場合にはどのような対応をするか当初から取り決めはあったのか。</p>				

◎予 算

発言 順位	1	議席 番号	28	議員名	吉田つとむ
議案番号	区分	事業名 (ページ)	要 旨		
第54号	歳出	1. 給食費公 会計事業費 (P. 20、21)	<p>(1) センター給食、弁当給食、それ以外の対象者の、時期別の割合と人数、及びその予定、あるいは見込み人数。</p> <p>(2) センター給食、弁当給食、学校給食代替の一人当たり費用、及び支出額とその積算根拠。</p>		
発言 順位	2	議席 番号	21	議員名	田中美穂
議案番号	区分	事業名 (ページ)	要 旨		
第54号	歳出	1. 学校給食 における食材 物価高騰対応 事業 (概要P. 10)	<p>(1) 事業の目的、算出根拠を問う。</p> <p>(2) この間の物価高騰によって、学校給食にどのような影響があり、どのように対応してきたのか。</p> <p>(3) 食材費改定の検討の過程について問う。</p>		

第3回定例会

◎予 算

発言 順位	1	議席 番号	17	議員名	おんじょう由久
議案番号	区分	事業名 (ページ)	要 旨		
第68号	歳出	1. 芹ヶ谷公園“芸術の杜” 推進事業 (P.24) (概要P.10、 P11)	(1) 2024年度予算からの工事費増額の理由 とその内訳は。		
発言 順位	2	議席 番号	28	議員名	吉田つとむ
議案番号	区分	事業名 (ページ)	要 旨		
第68号	歳入 歳出	1. 町田市バイオエネルギーセンター施設火災復旧事業 (概要P.8、 P.9)	(1) 被害の内容は。 (2) 安全対策の内容は。 (3) 積算根拠は。 (4) 特定財源以外の支出金額の財源は。 (5) 負担金とした理由は。		
発言 順位	3	議席 番号	21	議員名	田中美穂
議案番号	区分	事業名 (ページ)	要 旨		
第68号	歳出	1. 芹ヶ谷公園“芸術の杜” 推進事業 (概要P.10、 P11)	(1) 予算の目的、算出根拠を問う。 (2) 2024年度当初予算より、総事業費が 4億5,998万1千円、差額が生じてい るとあるが、その理由と、内訳について 問う。 (3) 今後のスケジュールは。		

発言 順位	4	議席 番号	27	議員名	新井よしなお
議案番号	区分	事業名 (ページ)	要 旨		
第68号	歳出	1. 芹ヶ谷公園“芸術の杜” 推進事業 (概要P.10、 P.11)	(1) 物価上昇の増額分はいくらか。 (2) 他工事に転用予定であった建設発生土を搬出する必要が生じたことに伴う増額分はいくらか。 (3) 省エネ法改正を受けた工事内容の見直し分はいくらか。 (4) 見直しする前の工事内容は省エネ対応ではなかったということか。 (5) 美術館整備費用のトータル金額は当初の28億5,000万円からいくら増えて、何%アップになったか。		
発言 順位	5	議席 番号	2	議員名	渡辺さとし
議案番号	区分	事業名 (ページ)	要 旨		
第68号	歳出	1. 町田市バイオエネルギーセンター施設火災復旧事業 (概要P.8、 P.9)	(1) 火災発生時や平時の対応マニュアル等の検証や見直しについて (2) 災害共済金が市負担費用の約85%となった理由は何か。		

第4回定例会

◎予 算

発言 順位	1	議席 番号	33	議員名	細野龍子
議案番号	区分	事業名 (ページ)	要 旨		
第101号	歳出	町田市民病院 運営資金貸付 金 (P.26) (概要P.12)	(1) 本事業の目的、内容、算出根拠を問う。 (2) 貸付金とした理由は何か。		
第104号	歳入	他会計長期借 入金 (P.2) (概要P.12)	(1) 一般会計から借入れを行う理由、目的、 算出根拠を問う。 (2) 期間と返済の見通しを問う。		
発言 順位	2	議席 番号	28	議員名	吉田つとむ
議案番号	区分	事業名 (ページ)	要 旨		
第101号	歳出	町田市民病院 運営資金貸付 金 (P.26) (概要P.12)	(1) 貸付金とした理由。 (2) 貸付金利の根拠と、固定金利とした 理由。		
第104号	歳入	他会計長期借 入金 (P.2) (概要P.12)	(1) 積算根拠。		

発言 順位	3	議席 番号	21	議員名	田中美穂
議案番号	区分	事業名 (ページ)	要 旨		
第101号	歳出	鶴川中学校中 規模改修機械 設備追加整備 事業 (概要P.11)	(1) 事業の目的、背景、算出根拠を問う。 (2) 生徒、教員、学校生活等への影響はあったのか。また、今後のスケジュールについて問う。		

(10) 一般質問の内容
第1回定例会

発言順位	氏名	質問事項
1	森本せいや	1. 新たな学校づくり推進計画について 2. 市内に新設される児童相談所について 3. 鶴川駅周辺再整備事業について 4. 市が行う指定管理者に対する労働条件モニタリングについて
2	村松としたか	1. 移動支援について 2. 高齢者の就労支援について 3. 町田市のDXについて 4. 中心市街地のまちづくりについて
3	渡辺さとし	1. 公共施設におけるWi-Fi環境整備について 2. 公園整備について 3. 教育現場における虐待対策とマルトリートメント啓発について 4. 中学校全員給食の現状と子育て世帯の負担軽減について
4	佐藤和彦	1. 環境施策について
5	今村るか	1. 町田市の歴史伝統文化の継承・発展と担い手について
6	吉田つとむ	1. (仮称) 国際工芸美術館建設の哲学について 2. 町田市のデジタル教科書の取組は 3. たま未来産業フェアと町田市内企業の取組について 4. 電子投票選挙に関する考え方について
7	矢口まゆ	1. 安心して通える学校、より信頼される学校組織と学校教育部を目指して 2. 町田市の裁量権を増やし、町田市独自の街づくりを進めるための権限移譲について議論を！
8	松岡みゆき	1. 学校統廃合について 2. 教員の働き方改革について 3. キッチンカーについて
9	松葉ひろみ	1. アピアランスケア用品購入費等助成について 2. 子育てしやすい環境づくりを求めて 3. 医療的ケアが必要な方への支援について 4. 町トレ開始10年を迎えるにあたって
10	秋田しづか	1. ゼロカーボンシティまちだの実現のために 2. 市民と行政が顔の見える関係を築き、対話を大切に共創のまちづくりを実現するために 3. 子どもが自死しない世の中に変えるために
11	戸塚正人	1. 町田市の観光政策の考え方について 2. 町田市の官民連携について
12	熊沢あやり	1. 委員会・審査会運営方法について(議会を除く) 2. 新たな学校づくりについて～本町田・藤の台・金井～ 3. 町田市立学校における国語教育について

発言順位	氏名	質問事項
13	小野りゅうじ	1. グーグルマップの地名・住所等の間違いについて 2. 町内会・自治会について 3. 認知症施策と成年後見制度について
14	細野龍子	1. 公共事業従事者の賃上げや労働条件改善の取り組みを求めて 2. 「新たな学校づくり」について問う 3. 市内地下水におけるPFOS及びPFOAの調査について問う
15	佐々木智子	1. 高齢者が地域で暮らし続けるための介護保険制度について問う 2. 身寄りのない高齢者への終活支援について問う 3. シルバーパスの利用改善を求めて 4. 今夏の熱中症対策について問う
16	中川幸太郎	1. 町田市の防犯施策について 2. 町田市で行われる選挙について 3. 町田市における交通施策について
17	若林章喜	1. 忠生地区まちづくりの推進について 2. 高齢者の介護予防活動への支援について
18	白川哲也	1. 行政経営改革について 2. 町田市民病院の財政について 3. 包括外部監査について
19	加藤真彦	1. 街路樹の更新について 2. 町田市の農業について
20	三遊亭らん丈	1. 中心市街地のまちづくりについて－令和6年第4回定例会につづいて 2. 町田市立図書館は今後どのように便利になるのか 3. 町田市職員の人材確保について
21	いわせ和子	1. 細野喜代四郎氏の書斎について 2. 「国際更生保護ボランティアの日」について 3. 町田市の中心市街地に映画館を 4. スポーツ広場の公園化について
22	小野寺まなぶ	1. 音楽にあふれた街づくりについて（その2） 2. 市民サービス向上に向けた窓口対応の専門性の確保について 3. 道路の身体検査について
23	おく栄一	1. にぎわいとみどりの都市拠点としての鶴川駅周辺まちづくりについて 2. 投票しやすい環境整備ならびに投票率向上について 3. 防災教育について 4. リサイクルできる廃食用油回収について

発言順位	氏名	質問事項
24	おんじょう由久	1. 災害対策（情報発信）について 2. 持続的で安定的な介護サービスに向けて 3. 帯状疱疹ワクチン接種について 4. 5歳児健診の実施について
25	田中美穂	1. JR東海のリニア中央新幹線工事について 2. より良い教育環境と教育費の保護者負担軽減を求めて 3. 聴覚障がい者の意思疎通の手段拡充の取り組みを求めて 4. 下水道事業について
26	おぜき重太郎	1. 「せせらぎの里町田市自然休暇村」の現状と今後の更なる活用を求めて 2. 都市計画道路3・4・49号線の整備に伴う公共交通機関の相原駅への乗り入れについて 3. 民間事業者との移動販売の実施に関する連携について（その3）
27	藤田 学	1. 町田市民病院の「がんと共に生きる」方針について 2. ワンヘルス。人と動物が幸せに暮らせる社会を目指して 3. 小山田・小山田桜台まちづくりの具体的推進について
28	笹倉みどり	1. 「子どもにやさしいまち」を目指して（その2） 2. ケアする人もされる人も大切にされるまちに
29	佐藤伸一郎	1. 未来につなぐ下水道事業プラン「町田市下水道事業経営戦略」の進捗状況について
30	新井よしなお	1. パークミュージアム計画について 2. 公立学校教育や教育環境について
31	東 友美	1. L G B T Q + について（その12） 2. 性と生について（その8） 3. 貧困に対する支援について（その5） 4. 町田市民病院について 5. 歩きスマホの規制について
32	殿村健一	1. 本町田地区の学校統廃合計画について問う 2. 芹ヶ谷公園パークミュージアム「一体的整備」計画について問う 3. 町田駅周辺開発推進計画について問う 4. 駅と駅周辺のバリアフリーの充実について問う

第2回定例会

発言順位	氏名	質問事項
1	いわせ和子	1. 耐震化施策について 2. 学童保育クラブ事業について
2	松葉ひろみ	1. 福祉の視点を取り入れた災害対策について 2. ユニバーサル社会の実現に向けたまちづくりについて 3. サポートルームについて
3	笹倉みどり	1. 職員をカスハラから守るために 2. 町田市民病院の小児病棟病床数を増やして！ 3. がんになった親と子どもを支える社会に
4	細野龍子	1. 統合新設校の現状と課題について問う 2. 地域公共交通の課題を明らかにし改善すべきだがどうか 3. 市民の声に寄り添う教育委員会を求めて 4. 国保資格確認書について問う
5	おげき重太郎	1. 市内の道路としてのエスカレーター及びエレベーターの故障対応について 2. 相原駅西口交通広場における一般車両の滞留問題について（その2） 3. 公設デイサービスのあり方の検討結果について進捗状況を問う
6	加藤真彦	1. 共生社会の実現に向けて 2. 米価高騰による学校給食への影響について 3. 都道の拡幅について（その3）
7	秋田しづか	1. ロケ支援について 2. 町田リス園基本計画策定について 3. 性の多様性について 4. より働きやすい市役所を目指して 5. 町田市未来づくり研究所の提言について
8	石川好忠	1. スポーツを通じた共生社会の実現について 2. 待機児童について
9	渡辺さとし	1. 戦後80年の節目を迎えて、次世代に対する平和学習の取組について 2. 子どもの学びの多様化について（その3） 3. 町田市自転車活用推進計画について
10	小野寺まなぶ	1. 地域の安全を守る取組の推進について（その2） 2. 小山田地区の道路整備について（その3）
11	吉田つとむ	1. 町田市の都市計画について 2. 美術品の価値について 3. 公共料金の支払いとその値引きについて 4. 町田駅の利便性と快適性について

発言順位	氏名	質問事項
1 2	新井よしなお	1. パークミュージアム計画について 2. 国際版画美術館へのアクセスについて 3. まちづくりとごみ問題について 4. 学校統廃合に係る基準について
1 3	佐々木智子	1. 不登校への抜本的支援策を問う 2. 子ども食堂について問う 3. 高齢者補聴器購入助成制度のさらなる改善を求めて
1 4	熊沢あやり	1. 学校選択制について 2. 新たな学校づくりについて 3. 危険ながけ地について
1 5	松岡みゆき	1. 「医療・ケアについての『もしも手帳』」について 2. 町田市民ホールについて 3. 地域子育て支援拠点事業について
1 6	三遊亭らん丈	1. 中心市街地のまちづくりについて—令和7年第1回定例会につ づいて 2. 選挙の適正な実施の確保と投票しやすい環境について 3. 「する」スポーツの推進について
1 7	中川幸太郎	1. 小学校の朝の居場所づくりについて 2. ごみ屋敷への対応について 3. 子どもセンター・子どもクラブの未就園児の利用について
1 8	おんじょう由久	1. C F C I（子どもにやさしいまちづくり事業）のこれまでと今 後について 2. 重度障がい者等に対する就労・修学の支援について 3. ごみの不法投棄対策について 4. 統合後の小学校の課題と対策について
1 9	藤田学	1. 資源ごみ処理施設整備について 2. インクルーシブ教育について 3. みんなのトイレの設置を広められたい
2 0	森本せいや	1. 『町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり 条例』について 2. 『見直そう！“伝わる日本語”推進運動』について 3. 鶴川地区の交通環境の改善について
2 1	佐藤和彦	1. 新設された成瀬小学校について
2 2	今村るか	1. フルインクルーシブ社会実現に向けた市の方針や取り組みを 問う
2 3	戸塚正人	1. 町田市のスポーツ振興施策について 2. 町田市の専門職について

発言順位	氏名	質問事項
24	矢口まゆ	<ol style="list-style-type: none"> 1. より良いまちづくりのために地方分権の推進を！ 2. 家庭や子どもたちの負担軽減のために、個人購入の学校教材は、できる限り学校備品に！ 3. 標準服の市内統一デザイン導入で家庭の負担軽減を！ 4. この夏、子どもたちの命を守るために！
25	小野りゅうじ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障がい者の移動・外出支援について(その2) 2. 防犯カメラの設置および管理運用について 3. 相原駅東口エスカレーターの故障について
26	若林章喜	<ol style="list-style-type: none"> 1. 忠生 33 号線の安全対策について 2. 義務教育学校について 3. 校内における不登校支援について
27	白川哲也	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物価高騰・金利上昇等が市の財政に与える影響について 2. 物価高騰・金利上昇等が市内事業者に与える影響について
28	田中美穂	<ol style="list-style-type: none"> 1. J R 東海のリニア中央新幹線工事について 2. 子どもの多様な体験機会の確保を求めて 3. あらゆる市民が使いやすい図書館を求めて 4. 学校の統廃合と、それに伴う学童保育クラブの対応について
29	殿村健一	<ol style="list-style-type: none"> 1. 町田駅周辺開発推進計画について問う 2. 芹ヶ谷公園パークミュージアム「一体的整備」計画について問う 3. 安心して歩けるインターロッキング歩道を求めて

第3回定例会

発言順位	氏名	質問事項
1	細野龍子	1. 「こども誰でも通園制度」について問う 2. 国民健康保険の改善を求めて 3. 学校統廃合に伴う学童保育クラブのあり方について問う 4. 生活保護制度について問う
2	佐々木智子	1. 安心して出産ができる町田市民病院と行政の役割を求めて 2. いのちを守る災害避難施設の充実を求めて 3. 夏季休業中の学童保育クラブへの昼食提供モデル事業について問う
3	三遊亭らん丈	1. 中心市街地のまちづくりについて—令和7年第2回定例会につづいて 2. 環境先進都市「ゼロカーボンシティまちだ」について 3. 高齢者見守り事業の拡充について
4	藤田学	1. 病院経営の現状と課題 2. 町田駅における新しいバスセンター整備について 3. デフリンピックのレガシーと手話言語条例の制定について
5	若林章喜	1. 今後の町田市政について
6	熊沢あやり	1. 子どもの居場所について～楽しい夏休みをおえて～ 2. 新たな学校づくりについて 3. 空き家対策について
7	矢口まゆ	1. 学校評価アンケートから見えてくる課題の分析と、市教委及び市としての対応について 2. 今後の学童保育のあり方と、長期休暇中のニーズへの対応について 3. 市民から、より信頼される選挙のあり方を目指して
8	森本せいや	1. 『2026年度市政運営の基本的な考え方』について 2. 『令和8年度（2026年度）予算編成方針』について 3. 町田市における公共工事の諸課題について
9	松葉ひろみ	1. 都議選・参院選を振り返って 2. 町田市デジタル化総合戦略2024の改定について 3. 都市計画道路3・4・34号線、3・4・9号線について
10	小野寺まなぶ	1. 上小山田地区に整備予定の資源化施設について 2. 自転車の安全・安心な利用環境について
11	佐藤和彦	1. 町田市いきいき長寿プラン24-26の進捗と今後について
12	おんじょう由久	1. 新たな学校づくりにおける通学負担軽減について 2. 町田市における熱中症対策について 3. 市内経済の活性化について

発言順位	氏名	質問事項
13	吉田つとむ	<ol style="list-style-type: none"> 1. (仮称) 国際工芸美術館の思想 (作品には、人の友情や人との直接的関係はあるか) 2. 町田市収蔵の工芸品が他の美術館に出品展示される価値について 3. 市長の仕事に関して始点と終点の基準は 4. 建築確認等を利用した違法行為若しくはその疑義に関する問題と特定行政庁の対応について 5. 小中一貫町田っ子カリキュラムキャリア教育について
14	松岡みゆき	<ol style="list-style-type: none"> 1. 飼い犬の対策について 2. 市民ホールについて (その2) 3. 学校統廃合について (その2)
15	渡辺さとし	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鶴川駅周辺再整備と安全対策について 2. 町田市の保育について
16	秋田しづか	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校給食等について 2. 移動支援について 3. 学校の断熱について 4. 小山田蓮田緑地はインクルーシブな公園なのか 5. 公有地にある公設デイサービスの民営化について 6. FC町田ゼルビアについて
17	田中美穂	<ol style="list-style-type: none"> 1. よりよい中学校給食を求めて 2. 教育費の保護者負担軽減を求めて 3. 町田市立図書館について 4. 不登校児童生徒の学校健診について
18	いわせ和子	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鶴川エリア中学校給食センターから夏休みの学童保育クラブに昼食を届けるモデル事業について 2. 子どものショートステイ事業について 3. 歩行者の安全対策について
19	今村るか	<ol style="list-style-type: none"> 1. 選挙権・被選挙権の権利保障について 2. 都市づくりのランドデザインについて
20	おぜき重太郎	<ol style="list-style-type: none"> 1. 町田市民病院の救急応需率の向上に向けた取り組みについて 2. 「Nature Factory 東京町田」の指定管理者制度導入後の利用状況について (その3) 3. 町田市内の公共交通機関の自動運転推進に向けた取り組みについて
21	加藤真彦	<ol style="list-style-type: none"> 1. シティプロモーションについて 2. 未就園児預かり推進事業について 3. 道路上の除草対策について
22	笹倉みどり	<ol style="list-style-type: none"> 1. 多文化共生社会の実現に向けて (その3) 2. 子どもと若者の性に関する包括的支援体制について 3. ICT教育の検証と見直しについて 4. 成瀬小学校区の通学の安全確保について

発言順位	氏名	質問事項
23	殿村健一	1. 「戦後80年」、「被爆80年」について問う 2. 芹ヶ谷公園パークミュージアム「一体的整備」計画について問う 3. 本町田ひなた小学校に通学する児童の暑さ対策について問う 4. 町田駅周辺開発推進計画について問う
24	小野りゅうじ	1. 町田市におけるデジタル化に関する取り組みと高齢者への対応について 2. 避難施設の運営について 3. 相原町における地域交通の充実に向けて(その2)
25	中川幸太郎	1. 部活動の地域移行について
26	戸塚正人	1. 市長の今期4年間の総括について
27	新井よしなお	1. パークミュージアム計画について 2. 陰山メソッドの実践について 3. いじめ問題への対応について 4. 養育費確保支援事業について 5. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について 6. 学校統合に関する文部科学省とのやり取りについて 7. 町田児童相談所開所と同一施設内の機関との連携について
28	白川哲也	1. 町田駅周辺開発推進計画について 2. デジタル化について 3. 団地再生について
29	佐藤伸一郎	1. 町田市下水道事業審議会の進捗状況について 2. 相原、小山地区の道路整備について

第4回定例会

発言順位	氏名	質問事項
1	小野寺まなぶ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 相原地域のにぎわいある街づくりについて 2. 小山田地区の道路整備について（その4） 3. 市全域での容器包装プラスチックの分別収集について 4. 町田市の英語教育について 5. クマ対策について
2	吉田つとむ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 多摩都市モノレールの町田方面延伸について 2. 8市連携市長会議と国際園芸博覧会の開催、及びその後の開発と町田市の関係について 3. 地域センターまつりの開催状況について 4. 中学校の探求学習、修学旅行の実施内容について 5. 町田市内の公共スポーツ施設における、年次的な全国規模大会（全国規模あるいは関東大会クラス等）の開催について 6. 建築確認申請等の特定行政庁・所管特定行政庁の対応について
3	加藤真彦	<ol style="list-style-type: none"> 1. 町田市の農業について 2. 高齢者の日常生活の利便性向上に向けて
4	松岡みゆき	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校の不審者情報について 2. 市内唯一の宿泊施設「Nature Factory 東京町田」を町田市の魅力として発信するために 3. 歯科口腔と健康について
5	矢口まゆ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校評価アンケートから見えてくる課題の分析手法と対応について 2. 学校統合における登下校および登降所の安全確保と、学童の居場所および預け先に困らないサービスの提供について 3. 福祉的要素のある施設における指定管理者制度の考え方について 4. 公平公正な選挙制度の確立を目指して
6	細野龍子	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物価高騰から暮らしを守るために 2. 救急通報システムの利用対象の拡充を求めて 3. 多様な学びのさらなる拡充を求めて 4. 町田市ふるさと納税の「子どもたちに、より良い学びの環境を提供したい！学びの未来デザインプロジェクト」について問う
7	新井よしなお	<ol style="list-style-type: none"> 1. パークミュージアム計画について 2. 学校施設の安全・整備状況と教育行政の意思決定プロセスの透明性について 3. これまで質問してきた項目について 4. 市政懇談会の役割と要望実現の検証について

発言順位	氏名	質問事項
8	おぜき重太郎	1. 町田市民病院のD P C入院期間と経営改善の取り組みについて 2. 「夕焼け小焼け」作曲 100 周年を活用した相原のにぎわいづくりについて（その4）
9	森本せいや	1. 下水道事業におけるウォーターP P Pの導入について 2. インクルーシブ保育について 3. 「にぎわいとみどりの都市拠点」としての鶴川駅周辺について
1 0	秋田しづか	1. 公設デイサービスについて 2. 市の公共施設の電力調達について 3. （取り下げ） 4. 新たな学校づくり推進計画について 5. いじめ対策について 6. F C町田ゼルビアについて
1 1	佐藤和彦	1. 高齢者が安心して暮らせるまちのために
1 2	松葉ひろみ	1. 学校統合に係る避難施設のあり方について 2. 災害時要配慮者への支援について 3. 聴覚障がい者の情報保障について 4. H P Vワクチン接種状況について 5. 高齢者補聴器購入助成制度について
1 3	中川幸太郎	1. 新たな学校づくりにおける跡地活用について 2. 町田市有料広告事業について
1 4	石川好忠	1. 町田市立総合体育館の大規模改修に向けて 2. 境川の調節池、河川整備について 3. 市の生成A Iの取組について
1 5	熊沢あやり	1. 新たな学校づくりについて 2. 英語教育について 3. 決算審査を終えて
1 6	渡辺さとし	1. 交通施策について 2. 学びの多様化について 3. 外国人住民への施策について 4. スポーツ関連施策について
1 7	おんじょう由久	1. 人手不足の時代における職員採用等について 2. 市内全エリアで開始された中学校全員給食について 3. 学齢期における子育て支援について 4. 小児インフルエンザワクチン任意接種助成事業の実施について 5. 公共交通の充実について
1 8	今村るか	1. 法律で規定されている自治体計画等の策定に関して 2. 社会教育施設の活用と歴史の継承に関して 3. ゼロカーボンシティへの取り組みについて

発言順位	氏名	質問事項
19	藤田 学	1. 人口減少・少子高齢化社会における地方行政の役割について 2. 町田市の新公会計制度について 3. 心の教育サポートと家庭支援について 4. 市内小学校調理室空調配備、設置状況と熱中症対策労務環境について
20	笹倉みどり	1. 香害、化学物質過敏症について 2. L G B T Q +、性の多様性について 3. みどりの保全と活用について
21	小野りゅうじ	1. 堺693号線への街路灯設置要望から考える街路灯設置基準のあり方について 2. 町田都市計画道路3・4・41号線について 3. 町田市民病院の経営について 4. 町田市職員の有給休暇の取得促進について
22	白川哲也	1. 石阪市政5期20年について問う 2. 地域産業振興と競争力の強化について 3. 町田市民病院の財政について
23	三遊亭らん丈	1. 身寄りのない高齢者支援について 2. 歩きやすいまちを目指して 3. 災害用トイレについて 4. 町田の歴史を後世に伝える取組について
24	佐藤伸一郎	1. ごみの減量と資源化の推進について 2. 中心市街地の未来について 3. 障がい者理解に対する教育について
25	佐々木智子	1. 町田市における学校統廃合計画について問う 2. 会計年度任用職員の処遇改善を求めて 3. 安心して利用できる介護保険制度について問う 4. 町田市立中学校2年生職場体験事業について問う
26	岩瀬和子	1. 女性に選ばれるまちを目指して 2. こども性暴力防止法（日本版D B S）施行に伴う町田市の対応について
27	戸塚正人	1. 町田市の政策推進について
28	田中美穂	1. 子どもの意見表明の権利について 2. 野津田公園の上の原はらっぱについて 3. 鶴川駅周辺再整備事業について 4. リニア中央新幹線工事について 5. ごみ袋の負担軽減を求めて
29	若林章喜	1. 町田市基本計画の次期5ヵ年計画について 2. 地域で活躍する職員の人材育成について

4. 委員会の概要

(1) 各委員会の開催状況

委 員 会 名	開催日数	付 託 案 件			行政報告	行政視察 (自治体数)
		議 案	請 願	陳 情 <small>(参考送付含む)</small>		
総務常任委員会	9	33	1	3	21	3
健康福祉常任委員会	8	30	4	2	10	3
文教社会常任委員会	12	37	22	1	23	4
建設常任委員会	10	27	5	0	30	3
議会運営委員会	26	0	0	0	0	3
第17期町田市議会改革調査 特別委員会	5	0	0	0	0	0

5. その他の会議の概要

(1) 全員協議会・法外委員会の開催状況

会 議 名	開催日数
全員協議会	2
災害対策委員会	0

6. 会議の傍聴者

(1) 令和7年傍聴者数

会期別	本会議	総務 常任委員会	健康福祉 常任委員会	文教社会 常任委員会	建設 常任委員会	議会運営 委員会	第17期 町田市議会改革 調査特別委員会	全員 協議会	災害対策 委員会
第1回 定例会	89	2	13	48	4	0	0	0	-
第2回 定例会	72	1	0	20	32	0	-	-	-
第3回 定例会	124	9	6	23	11	4	-	-	-
第4回 定例会	77	8	1	25	23	0	-	1	-
会期外	-	-	-	-	-	3	1	-	-
計	362	20	20	116	70	7	1	1	-

7. 資 料

(1) 歴代の正・副議長

代	議 長	在職期間	代	副 議 長	在職期間
1	夏 目 文 吉	S33. 3. 22 34. 3. 10	1	渋 谷 市 十 郎	33. 3. 22 34. 3. 10
2	夏 目 文 吉	34. 3. 10 35. 3. 11	2	菊 谷 武 平	34. 3. 10 35. 3. 11
3	熊 澤 重 治	35. 3. 11 36. 3. 14	3	内 田 政 光	35. 3. 11 36. 3. 14
4	笠 原 道 一	36. 3. 14 37. 3. 8	4	小 川 源 之 助	36. 3. 14 37. 3. 8
5	夏 目 文 吉	37. 3. 16 38. 11. 27	5	河 合 暁	37. 3. 16 39. 3. 13
6	河 合 暁	39. 3. 13 41. 3. 8	6	平 本 實	39. 3. 13 41. 3. 8
7	熊 澤 重 治	41. 3. 18 43. 3. 11	7	青 木 豊 富	41. 3. 18 43. 3. 12
8	平 本 實	43. 3. 12 45. 3. 8	8	齊 藤 照 男	43. 3. 13 45. 3. 8
9	森 町 三 之 助	45. 3. 17 47. 3. 10	9	笠 原 邦 雄	45. 3. 17 47. 3. 12
10	加 藤 二 郎	47. 3. 12 48. 3. 13	10	加 藤 忠 男	47. 3. 12 48. 3. 16
11	森 町 三 之 助	48. 3. 16 49. 3. 8	11	細 野 了	48. 3. 16 49. 3. 8
12	木 目 田 良 一	49. 3. 13 51. 3. 1	12	細 野 喜 代 松	49. 3. 13 51. 3. 3
13	内 田 博	51. 3. 3 53. 3. 8	13	笠 原 邦 雄	51. 3. 3 52. 3. 18
14	吉 岡 行 雄	53. 3. 9 55. 3. 6	14	長 沼 房 雄	52. 3. 22 53. 3. 8
15	小 山 貴 光	55. 3. 7 57. 3. 8	15	小 山 七 平	53. 3. 10 55. 3. 7
16	押 田 正	57. 3. 9 59. 3. 7	16	花 形 英 一	55. 3. 8 57. 3. 8
17	中 里 誠 作	59. 3. 8 61. 3. 8	17	木 美 貢	57. 3. 10 59. 3. 8
18	渋 谷 軍 治	61. 3. 11 63. 3. 3	18	小 竹 金 次	59. 3. 9 61. 3. 8
19	佐 藤 光 平	63. 3. 3 H元. 9. 21	19	小 川 忠 男	61. 3. 11 63. 3. 3
20	小 山 貴 光	元. 9. 21 2. 3. 8	20	小 林 章	63. 3. 4 2. 3. 8
21	八 木 邦 治	2. 3. 12 4. 3. 3	21	茂 木 朱 実	2. 3. 12 4. 3. 5
22	金 森 貢	4. 3. 5 6. 3. 8	22	岩 下 正 充	4. 3. 5 6. 3. 8
23	熊 沢 洋	6. 3. 9 8. 3. 1	23	和 田 国 吉	6. 3. 9 8. 3. 1

代	議 長	在職期間	代	副 議 長	在職期間
24	渋 谷 佳 久	8. 3. 1 10. 3. 8	24	志 村 賢 藏	8. 3. 1 10. 3. 8
25	渋 谷 敏 穎	10. 3. 9 12. 3. 1	25	谷 沢 和 夫	10. 3. 9 12. 3. 2
26	中 里 猪 一	12. 3. 2 14. 3. 8	26	伊 藤 泰 人	12. 3. 2 14. 3. 8
27	長 村 敏 明	14. 3. 11 16. 3. 1	27	佐 藤 常 雄	14. 3. 11 16. 3. 1
28	大 塚 信 彰	16. 3. 1 18. 3. 8	28	中 山 勝 子	16. 3. 2 18. 3. 8
29	黒 木 一 文	18. 3. 9 20. 2. 27	29	田 中 修 一	18. 3. 9 20. 2. 28
30	井 上 正 行	20. 2. 28 22. 3. 8	30	友 井 和 彦	20. 2. 28 22. 3. 8
31	川 畑 一 隆	22. 3. 9 24. 2. 27	31	吉 田 つとむ	22. 3. 9 24. 2. 27
32	田 中 修 一	24. 2. 27 26. 3. 8	32	藤 田 学	24. 2. 27 26. 3. 8
33	上 野 孝 典	26. 3. 10 28. 2. 25	33	大 西 宣 也	26. 3. 10 28. 2. 25
34	佐 藤 伸一郎	28. 2. 25 28. 10. 4	34	殿 村 健 一	28. 2. 26
35	吉 田 つとむ	28. 10. 4 30. 3. 8			30. 3. 8
36	若 林 章 喜	30. 3. 9 R2. 2. 21	35	佐 藤 和 彦	30. 3. 9 2. 2. 21
37	熊 沢 あやり	2. 2. 21 3. 12. 22	36	お く 栄 一	2. 2. 25
38	佐 藤 伸一郎	3. 12. 22 4. 3. 8			4. 3. 8
39	戸 塚 正 人	4. 3. 9 6. 2. 22	37	い わ せ 和 子	4. 3. 9 6. 2. 22
40	木 目 田 英 男	6. 2. 22	38	山 下 てつや	6. 2. 22 7. 6. 1
			39	お く 栄 一	7. 6. 2

期別	名称		企画		総務		保健		福祉		文教		生活		都市		環境	
	任期	委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長	委員長	副委員長
第13期	18. 3.10～20. 3. 9	新井 克尚	佐藤伸一郎	渋谷 武己	若林 章喜	あさみ美子	上野 孝典	宮坂けい子	熊沢あやり	細野 龍子	建設		宮坂けい子	いわせ和子				
	20. 3.10～20. 3.31	あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	吉村こずえ	宮坂けい子	河辺康太郎	細野龍子	高嶋 均									
第14期	20. 4. 1～22. 3. 8	あさみ美子	金子ひろのり	若林 章喜	吉村こずえ	宮坂けい子	河辺康太郎	細野龍子	高嶋 均									
	21. 4. 8～22. 3. 8																	
	22. 3.10～24. 3.11	河辺康太郎	佐藤 洋子	おく 栄一	齋藤 祐善	わたべ真実	佐々木智子	いわせ和子	三遊亭らん丈	山下てつや			戸塚 正人	佐藤 和彦				
	24. 3.12～	戸塚 正人	渋谷 武己	佐藤 洋子	わたべ真実		齋藤 祐善	三遊亭らん丈										
	24. 6.19～			上野 孝典														
25. 4.12～		宮坂けい子																
25.11.28～26. 3. 8																		
第15期	26. 3.11～28. 3.10	森本せいや	渡辺巖太郎	佐藤 和彦	松岡みゆき	松岡みゆき	いわせ和子	白川 哲也	わたべ真実	池川 友一	石川 好忠							
	28. 3.11～	松岡みゆき	石井くこのり	池川 友一	木目田英男	木目田英男	市川 勝斗	おぜき重太郎	白川 哲也	石川 好忠								
	29. 3.28～30. 3. 8			森本せいや	ちだ 伸也	ちだ 伸也	三遊亭らん丈											
第16期	30. 3.12～	渡辺巖太郎	吉田つとむ	石川 好忠	ちだ 伸也	木目田英男	松葉ひろみ	松葉ひろみ	おぜき重太郎	おんじょう由久	深沢ひろみ							
	30. 3.20～ R2. 3.17	いわせ和子	星だいすけ	松葉ひろみ	東 友美	おぜき重太郎	おんじょう由久	おんじょう由久	渡辺巖太郎	森本せいや								
	R2. 3.18～	ちだ 伸也	若林 章喜															
	R3. 6. 7～R4. 3. 8																	
第17期	R4. 3.10～ R6. 3.10	おんじょう由久	白川 哲也	石川 好忠	森本せいや	森本せいや	新井よしなお	新井よしなお	渡辺巖太郎	森本せいや								
	R6. 3.11～	村松としたか	中川幸太郎	松岡みゆき	笹倉みどり	佐々木智子	渡辺さとし	渡辺さとし	森本せいや									
	R7. 4.18～	石川 好忠	石川 好忠	松岡みゆき	笹倉みどり	佐々木智子	渡辺さとし	渡辺さとし	森本せいや									

(3) 歴代の正・副議会運営委員長

期 別	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第 9 期	H 3. 12. 20～ 4. 3. 12	和田 国吉 渋谷 敏頼	大西 宣也 佐藤 常雄 稲葉 孝紀
	4. 3. 13～ 6. 3. 8		
	4. 3. 13～ 5. 5. 25		
	5. 5. 25～ 6. 3. 8		
第 10 期	H 6. 3. 10～ 8. 3. 4	中里 猪一 茂木 朱実	佐藤 常雄 長村 敏明
	8. 3. 4～10. 3. 8		
第 11 期	H10. 3. 10～12. 3. 6	黒木 一文 岩瀬 雄二	小宮晟太郎 田中 修一
	12. 3. 6～14. 3. 8		
第 12 期	H14. 3. 12～16. 3. 1	吉田つとむ 藤田 学 黒木 一文	中山 勝子 熊沢あやり
	16. 3. 2～17. 12. 22		
	16. 3. 2～18. 3. 8		
	17. 12. 22～18. 3. 8		
第 13 期	H18. 3. 10～20. 2. 27	友井 和彦 渋谷 武己	高嶋 均 新井 克尚 伊藤 泰人
	20. 2. 28～22. 3. 8		
	20. 2. 28～21. 4. 28		
	21. 5. 26～22. 3. 8		
第 14 期	H22. 3. 10～24. 2. 27	田中 修一 おく 栄一	細野 龍子 森本せいや
	24. 2. 28～26. 3. 8		
第 15 期	H26. 3. 11～28. 2. 28	市川 勝斗 若林 章喜 若林 章喜	戸塚 正人 山下てつや 山下てつや
	28. 2. 29～28. 3. 10		
	28. 3. 11～30. 3. 8		
第 16 期	H30. 3. 12～R2. 2. 24	三遊亭らん丈 森本せいや 森本せいや	戸塚 正人 松岡みゆき 松岡みゆき 木目田英男
	2. 2. 25～ 2. 3. 17		
	2. 3. 18～		
	3. 6. 7～ 4. 3. 8		
第 17 期	R 4. 3. 10～R 6. 2. 25	山下てつや 東 友美 東 友美 戸塚 正人	佐藤 和彦 加藤 真彦 加藤 真彦 加藤 真彦
	R 6. 2. 26～R 6. 3. 10		
	R 6. 3. 11～R 7. 3. 27		
	R 7. 3. 27～		

(4) 歴代の正・副特別委員長

	名 称	設 置 期 間	定数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第1期	ガ ス 誘 致 (36.3「ガス」と改称)	33. 3. 24～37. 3. 8	15	33. 3. 24～34. 3. 11	細野 信正	久保田政雄
				34. 3. 11～35. 3. 11	久保田政雄	臼井 嘉市
				35. 3. 11～36. 3. 20	鬼頭 玄定	名越覚十郎
				36. 3. 20～37. 3. 8	加藤 二郎	臼井 嘉市
第1期	首都圏整備対策	33. 3. 24～37. 3. 8	15	33. 3. 24～34. 3. 11	堀江 卓	竹内 武雄
				34. 3. 11～35. 3. 11	大谷喜代志	佐藤 長一
				35. 3. 11～36. 3. 21	今岡七五郎	榎本 熙
				36. 3. 21～37. 3. 8	竹内 武雄	鈴木 喜市
第1期	アジビラ調査	36. 4. 20～36. 9. 21	11	36. 5. 13～36. 7. 8	熊澤 重治	内田 政光
				36. 7. 8～36. 9. 21	河合 暁	内田 政光
第1期	オリンピック馬術 競技場誘致	36. 8. 1～36. 9. 21	10	36. 8. 4～36. 9. 21	夏目 文吉	三沢 四郎
第2期	ガ ス	37. 3. 17～37. 9. 20	12	37. 3. 17～37. 9. 20	高尾 英輔	佐藤 長治
	首都圏整備対策	37. 3. 17～37. 9. 20	13	37. 3. 17～37. 9. 20	三沢 四郎	加藤 二郎
	鶴川地区飼牛 環境整備対策	37. 6. 1～37. 9. 20	7	37. 6. 1～37. 9. 20	三沢 四郎	中村 義高
	消防署建設促進	37.10. 6～38. 6. 15	10	37.10. 6～38. 6. 15	河合 暁	青木 豊富
	非行少年問題対策	38. 6. 28～38.11. 8	14	38. 7. 22～38.11. 8	堤 時彦	森町三之助
	都市整備対策	38. 6. 28～38. 9. 12	16	38. 7. 10～38. 9. 12	三沢 四郎	佐藤 長治
	市街地改造 (40.6 2・2・1 路線対策と改称)	38. 9. 21～40.12.21	10	38. 9. 21～40.12.21	久保田政雄	加藤 二郎
	忠生区画整理対策	38. 9. 21～40.12.21	10	38. 9. 21～40.12.21	鈴木 喜市	守屋喜代次
	東名高速道路対策	38. 9. 21～40. 6. 24	10	38. 9. 21～40. 6. 24	井上 茂留	宇田川 孝
	市立体育館建設	39. 3. 25～40. 1. 15	10	39. 3. 25～40. 1. 15	渋谷市十郎	斉藤 照男
	横浜線複線促進	40. 3. 29～41. 3. 8	10	40. 3. 29～41. 3. 8	青木 豊富	斉藤 照男
	市職員 の サービス 規律調査	40. 9. 30～40.12.20	8	40.10. 5～40.12.20	斉藤 照男	細野 了

	名 称	設 置 期 間	定数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第3期	横浜線複線促進	41. 3. 19～45. 3. 8	10	41. 3. 19～43. 3. 23 43. 3. 23～45. 3. 8	笠原 邦雄 城田 賢蔵	諸澄 福治 河合秀二郎
	山崎市有地調査	41. 9. 30～42. 3. 10	7	41. 10. 11～42. 3. 10	吉岡 行雄	名越覚十郎
	境川改修対策	41. 9. 30～45. 3. 8	7	41. 10. 12～43. 3. 16 43. 3. 16～45. 3. 8	斉藤 照男 福本 爽	福本 爽 細野 了
	団地対策	41. 12. 20～45. 3. 8	8	42. 1. 11～45. 3. 8	細野 総一	小山 七平
	庁舎建設	42. 12. 16～44. 12. 17	13	42. 12. 22～44. 12. 17	青木 豊富	名越覚十郎
	決算（42年度）	43. 12. 10～43. 12. 18	29	43. 12. 10～43. 12. 18	加藤 二郎	井上 昇
第4期	横浜線対策	45. 3. 31～49. 3. 8	9	45. 4. 1～47. 3. 18 47. 3. 18～49. 3. 8	細野喜代松 吉岡 行雄	木目田良一 長沼 房雄
	境川改修対策	45. 3. 31～49. 3. 8	10	45. 4. 12～47. 3. 18 47. 3. 18～49. 3. 8	鈴木 喜市 細野喜代松	細野 了 池田 正盛
	団地造成対策	45. 4. 2～49. 3. 8	10	45. 4. 2～47. 3. 18 47. 3. 18～49. 3. 8	小山 七平 仲沢 逸雄	大沢 伊助 市田 康
	市街地再開発	46. 6. 21～49. 3. 8	9	46. 6. 21～47. 3. 18 47. 3. 18～49. 3. 8	宇田川 孝 河合秀二郎	加藤 忠男 守屋 三郎
	公有財産使用許可 取り消し処分 に関する審査	46. 5. 14～46. 5. 22	9	46. 5. 14～46. 5. 22	加藤 忠男	名越覚十郎
	決算（45年度）	46. 12. 18～47. 6. 12	12	46. 12. 18～47. 6. 12	福本 爽	小竹 金次
	決算（46年度）	47. 12. 18～48. 9. 12	12	47. 12. 18～48. 9. 12	木目田良一	渡辺 勝広
第5期	土地利用対策	49. 3. 25～53. 3. 8	10	49. 3. 25～51. 3. 15 51. 3. 15～53. 3. 8	守屋 三郎 渡辺 勝広	(～51. 3. 4) 小林 章 井上 博行
	交通対策	49. 3. 25～53. 3. 8	10	49. 3. 25～51. 3. 15 51. 3. 15～53. 3. 8 51. 3. 15～52. 3. 23 52. 3. 31～53. 3. 8	吉岡 行雄 花形 英一	(～51. 3. 4) 木美 貢 長沼 房雄 茂木 朱実

	名 称	設 置 期 間	定数	任 期	委 員 長	副 委 員 長	
第5期	市街地再開発	49. 3. 25～53. 3. 8	10	49. 3. 25～51. 3. 15	河合秀二郎	中里 誠作	
				49. 3. 25～51. 3. 4			
				51. 3. 15～52. 6. 17	河合秀二郎		
				52. 7. 14～53. 3. 8			
				51. 3. 15～51. 12. 14	細野喜代松		大西 一也
				51. 12. 14～53. 3. 8			
	河川改修対策	49. 3. 25～53. 3. 8	10	49. 3. 25～51. 3. 15	(～51. 3. 4) 高野 和洋	浅沼 武男	
決算（48年度）	49. 12. 14～50. 3. 11	13	49. 12. 14～50. 3. 11	吉岡 行雄	金子 喜市		
決算（49年度）	50. 12. 10～51. 3. 1	13	50. 12. 10～51. 3. 1	内田 博	倉成 美敏		
予 算	51. 3. 16～51. 3. 31	39	51. 3. 16～51. 3. 31	吉岡 行雄	茂木 朱実		
決算（50年度）	51. 12. 14～52. 3. 8	13	51. 12. 16～52. 3. 8	小山 貴光	小竹 金次		
委員会審査条例	52. 12. 22～53. 3. 8	11	52. 12. 22～53. 3. 8	押田 正	金子 喜市		
第6期	土地利用対策	53. 3. 11～57. 3. 8	10	53. 3. 11～55. 3. 11	小原 祥夫	倉成 美敏	
				55. 3. 11～57. 3. 8			
	交通対策	53. 3. 11～57. 3. 8	10	53. 3. 11～55. 3. 11	小山 貴光	林 郁男	
				55. 3. 11～57. 3. 8			
	市街地再開発	53. 3. 11～56. 3. 5	10	53. 3. 11～55. 3. 11	小竹 金次	井上 博行	
				55. 3. 11～56. 3. 5			
	河川改修対策	53. 3. 11～57. 3. 8	10	53. 3. 11～55. 3. 11	岩下 正充	井上 直之	
				55. 3. 11～57. 3. 8			
市職員の勤務に関する調査	53. 4. 1～54. 3. 28	13	53. 4. 1～54. 3. 28	花形 英一	小竹 金次		
決算（52年度）	53. 12. 13～54. 3. 6	13	53. 12. 13～54. 3. 6	押田 正	菊地 信夫		
土地利用規制に関する調査	54. 9. 20～56. 3. 26	14	54. 9. 20～56. 3. 26	井上 博行	倉成 美敏		
決算（53年度）	54. 12. 11～55. 3. 27	14	54. 12. 11～55. 3. 27	佐藤 松子	萩原 康好		

	名 称	設 置 期 間	定 数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第6期	決算（54年度）	55.12.11～56.3.5	14	55.12.11～56.3.5	小峯 璋	井上 直之
	市街地対策	56.3.30～57.3.8	10	56.4.7～57.3.8	古宮杜司男	小川 忠男
	学校給食条例審査	57.12.14～57.3.8	15	56.12.14～57.3.8	大西 一也	茂木 朱実
第7期	市街地整備対策	57.3.30～61.3.8	10	57.3.30～59.3.10	吉岡 行雄	盛永 勝也
				59.3.10～61.3.8	金森 貢	佐藤 松子
	交通輸送対策	57.3.30～61.3.8	10	57.3.30～59.3.10	茂木 朱実	佐藤 松子
				59.3.10～61.3.8	広田 幾造	和田 国吉
	土地利用対策	57.3.30～61.3.8	10	57.3.10～59.3.10	志村 賢藏	須崎 卓司
				59.3.10～61.3.8	岩瀬 雄二	仲沢 逸雄
	行政改革に関する	57.3.30～59.3.6	10	57.3.30～59.3.6	大沢 伊助	井上 正行
	決算（56年度）	57.12.15～58.3.8	16	57.12.15～58.3.8	萩原 康好	岩下 正充
	校内暴力に関する調査	58.3.31～59.3.6	16	58.3.31～59.3.6	小山 貴光	稲葉 孝紀
	町田市議会議員定数に関する	58.9.29～60.9.4	16	58.9.29～59.3.10 59.3.10～60.9.4	萩原 康好 谷沢 和夫	小竹 金次 古宮杜司男
決算（57年度）	58.12.12～59.3.6	16	58.12.12～59.3.6	広田 幾造	渡辺 勝広	
決算（58年度）	59.12.3～59.12.25	16	59.12.3～59.12.25	熊沢 洋	和田 国吉	
決算（59年度）	60.12.3～60.12.24	15	60.12.3～60.12.24	大沢 伊助	志村 賢藏	
第8期	土地利用対策	61.3.31～2.3.8	13 63.9.12 から10	61.3.31～63.3.4	小林 章	進木 忠
				63.3.4～2.3.8	岩下 正充	斎藤 勇
	交通輸送対策	61.3.31～2.3.8	13 63.9.12 から10	61.3.31～63.3.4	稲葉 孝紀	小原 祥夫
				63.3.4～2.3.8	佐藤 松子	渋谷 佳久
	市街地整備対策	61.3.31～2.3.8	13 63.9.12 から10	61.3.31～63.3.4	広田 幾造	井上 正行
				63.3.4～2.3.8	大西 宣也	進木 忠
	決算（60年度）	61.12.2～61.12.23	15	61.12.2～61.12.23	山下 七郎	岩下 正充
	古宮議員の言動究明に関する調査	62.9.29～63.12.16	13	62.9.29～63.3.16	小竹 金次	広田 幾造
決算（61年度）	62.12.2～62.12.25	15	62.12.2～62.12.25	岩瀬 雄二	斎藤 勇	
電算機導入対策	63.3.29～元.9.4	10	63.3.29～元.9.4	長尾 彰久	八木 邦治	
決算（62年度）	63.12.1～63.12.23	15	63.12.1～63.12.23	金森 貢	中山 勝子	
決算（63年度）	元.12.1～元.12.22	15	元.12.1～元.12.22	須崎 卓司	稲葉 孝紀	

	名 称	設 置 期 間	定数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第9期	決算（元年度）	2.12. 3～ 2.12.21	15	2.12. 3～ 2.12.21	渋谷 敏穎	長尾 彰久
	レストラン四季補助 金 使 途 調 査	3. 2. 5～ 3.12.20	15	3. 2. 5～ 3.12.20	金森 貢	進木 忠
	庁 舎 建 設	2. 9. 2～ 5.11.26	14	2. 9. 2～ 4. 3.13	渋谷 佳久	林 郁男
				4. 3.13～ 5. 1. 4	志村 賢藏	戸塚 雅夫
5. 3. 2～ 5.11.26				進木 忠	中里 猪一	
決算（2年度）	3.11.25～ 3.12.20	14	3.11.25～ 3.12.20	中里 猪一	佐藤 常堆	
第10期	決算（5年度）	6.11.25～ 6.12.20	12	6.11.25～ 6.12.20	黒木 一文	伊藤 泰人
	決算（6年度）	7.11.27～ 7.12.21	12	7.11.27～ 7.12.21	戸塚 雅夫	岩下 正充
	決算（7年度）	8.11.25～ 8.12.19	12	8.11.25～ 8.12.19	大塚 信彰	今村 路加
	決算（8年度）	9.11.26～ 9.12.19	11	9.11.26～ 9.12.19	井上 勉	井上 正行
第11期	決算（9年度）	10.11.25～10.12.22	12	10.11.25～10.12.22	小宮晟太郎	友井 和彦
	町田市議会の改革 に関する調査	11. 3. 3～13. 9. 3	14	11. 3.12～13. 9. 3	大塚 信彰	川島 龍子
	行 財 政 改 革	11. 3.12～13.11.16	14	11. 3.29～13.11.16	井上 正行	長村 敏明
	決算（10年度）	11.11. 8～11.11.29	10	11.11. 8～11.11.29	大塚 信彰	川島 龍子
	町 田 市 庁 舎 等 に 関 する	12. 6.23～13. 9.26	12	12. 6.23～13. 12. 3	渋谷 軍治	大西 宣也
	決算（11年度）	12.11. 7～12.12. 1	11	12.11. 7～12.12. 1	中山 勝子	中西佳代子
	決算（12年度）	13.11. 6～13.12. 3	11	13.11. 6～13.12. 3	藤田 学	進木 忠
第12期	決算（13年度）	14. 9.27～14.10.28	10	14. 9.27～14.10.28	友井 和彦	上野 孝典
	決算（14年度）	15. 9.29～15.10.22	10	15. 9.29～15.10.22	川畑 一隆	新井 克尚
	庁 舎 等 検 討	15.12.15～16. 3.26	11	15.12.15～16. 3.26	藤田 学	岩下 正充
	新庁舎建設等 に関する調査	16. 9.13～17.12.22	10	16. 9.13～17.12.22	伊藤 泰人	佐藤伸一郎
	決算（15年度）	16. 9.14～16.10. 7	10	16. 9.14～16.10. 7	渋谷 武己	宮坂けい子
	決算（16年度）	17. 9.16～17.10.12	10	17. 9.16～17.10.12	新井 克尚	佐藤伸一郎

	名 称	設 置 期 間	定 数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第13期	決算（17年度）	18. 9. 12～18. 10. 5	10	18. 9. 12～18. 10. 5	若林 章喜	戸塚 正人
	議会改革調査	18. 9. 12～21. 6. 23	11	18. 9. 12～20. 2. 27	井上 正行	
				18. 9. 12～20. 3. 3		若林 章喜
				20. 3. 10～21. 6. 23	伊藤 泰人	三遊亭らん丈
	町田市庁舎建設等に関する調査	18. 10. 5～21. 3. 30	10	18. 10. 5～21. 3. 30	佐藤伸一郎	あさみ美子
	決算（18年度）	19. 9. 13～19. 10. 10	10	19. 9. 13～19. 10. 10	佐藤伸一郎	吉村こずえ
	決算（19年度）	20. 9. 16～20. 10. 9	10	20. 9. 16～20. 10. 9	三遊亭らん丈	おく 栄一
決算（20年度）	21. 9. 9～21. 10. 6	10	21. 9. 9～21. 10. 6	齋藤 祐善	市川 勝斗	
第14期	決算（21年度）	22. 9. 10～22. 10. 6	10	22. 9. 10～22. 10. 6	山下てつや	白川 哲也
	町田市庁舎及び庁舎移転に関する調査	22. 3. 30～24. 3. 28	10	22. 3. 30～24. 3. 28	新井 克尚	戸塚 正人
	野津田公園基本計画に関する調査	23. 3. 29～23. 8. 30	8	23. 3. 29～23. 8. 30	上野 孝典	齋藤 祐善
	決算（22年度）	23. 9. 8～23. 10. 4	10	23. 9. 8～23. 10. 4	市川 勝斗	戸塚 正人
	町田市議会改革調査	23. 9. 8～25. 6. 6	8	23. 9. 8～25. 6. 6	齋藤 祐善	山下てつや
	決算（23年度）	24. 9. 12～24. 10. 5	10	24. 9. 12～24. 10. 5	河辺康太郎	細野 龍子
	決算（24年度）	25. 9. 11～25. 10. 8	10	25. 9. 11～25. 10. 8	渡辺巖太郎	いわせ和子
第15期	町田市交通政策	26. 6. 3～28. 6. 24	10	26. 6. 3～28. 2. 24	佐藤伸一郎	
				26. 6. 3～28. 6. 24		おぜき重太郎
				28. 2. 25～28. 6. 24	藤田 学	
	決算（25年度）	26. 9. 10～26. 10. 6	10	26. 9. 10～26. 10. 6	白川 哲也	石川 好忠
	第15期町田市議会改革調査	27. 3. 27～27. 12. 22	9	27. 3. 27～27. 12. 22	熊沢あやり	戸塚 正人
決算（26年度）	27. 9. 8～27. 10. 5	10	27. 9. 8～27. 10. 5	松岡みゆき	石井くにのり	
第16期	第16期町田市議会改革調査	30. 12. 11～R3. 3. 29	10	30. 12. 11～R2. 3. 17	藤田 学	松葉ひろみ
				R2. 3. 18～R3. 3. 29	三遊亭らん丈	斉藤かつひろ
	町田市基本構想・基本計画調査	R元. 8. 28～R3. 6. 30	36 R2. 3. 18 から 10	R元. 8. 28～R3. 6. 30	若林 章喜	佐藤 和彦
第17期	第17期町田市議会改革調査	R4. 6. 30～R7. 8. 27	10	R4. 6. 30～R6. 3. 10	今村 るか	村まつ俊孝
				R6. 3. 11～R7. 8. 27	佐藤 和彦	小野寺まなぶ

(5) 歴代の正・副法外委員長

	名 称	設 置 期 間	定数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第1期	議会運営	33. 3. 24～37. 3. 8	8	33. 3. 24～34. 3. 11	渋谷 一郎	三沢 四郎
				34. 3. 11～35. 3. 11	三沢 四郎	青木 豊富
				35. 3. 11～36. 3. 14	三沢 四郎	渋谷 一郎
				36. 3. 14～37. 3. 8	斎藤 照男	渋谷 一郎
第2期	議会運営	37. 3. 17～41. 3. 8	5	37. 3. 17～39. 3. 13	斎藤 照男	城田 賢蔵
				39. 3. 13～41. 3. 8	斎藤 照男	城田 賢蔵
第3期	議会運営	41. 3. 19～45. 3. 8	7	41. 3. 19～43. 3. 13	斎藤 照男	城山 武一
				43. 3. 13～45. 3. 8	前田 敏一	宇田川 孝
第4期	議会運営	45. 3. 18～49. 3. 8	8	45. 3. 18～47. 3. 21	吉岡 行雄	河合秀二郎
				47. 3. 27～49. 3. 8	笠原 邦堆	小山 七平
	災害対策	46. 9. 25～49. 3. 8	10	46. 11. 22～47. 3. 18	内田 博	河合秀二郎
				47. 3. 28～49. 3. 8	堤 時彦	細野 了
第5期	議会運営	49. 3. 14～53. 3. 8	10	49. 3. 14～51. 3. 4	笠原 邦雄	内田 博
				51. 3. 5～53. 3. 8	押田 正	金子 喜市
	災害対策	49. 3. 14～53. 3. 8	10	49. 5. 7～51. 3. 14	小川 忠男	花形 英一
				51. 3. 15～53. 3. 8	斎藤 謹也	林 郁男
第6期	議会運営	53. 3. 11～57. 3. 8	8	53. 3. 11～55. 3. 10	大沢 伊助	金子 喜市
				55. 3. 11～57. 3. 8	金子 喜市	
				55. 3. 11～55. 9. 17		中金 義男
				55. 9. 26～57. 3. 8		井上 博行
	災害対策	53. 3. 11～57. 3. 8	13	53. 3. 11～55. 3. 10	今村 直	田中 年男
				53. 3. 11～54. 2. 18		小峯 璋
54. 3. 6～55. 3. 10		谷沢 和夫				
55. 3. 11～57. 3. 8	陶山 金造					
第7期	議会運営	57. 3. 10～61. 3. 8	10	57. 3. 10～59. 3. 9	中里 誠作	小竹 金次
				59. 3. 10～61. 3. 8	今村 直	八木 邦治
	災害対策	57. 3. 10～61. 3. 8	12	57. 3. 10～59. 3. 9	広田 幾造	進木 忠
				59. 3. 10～61. 3. 8	進木 忠	熊沢 洋
第8期	議会運営	61. 3. 12～ 2. 3. 8	10	61. 3. 12～63. 3. 11	小竹 金次	熊沢 洋
				63. 3. 14～ 2. 3. 8	茂木 朱実	金森 貢
	災害対策	61. 3. 12～ 2. 3. 8	12	61. 3. 12～63. 3. 11	古宮杜司男	山下 七郎
				63. 3. 14～ 2. 3. 8	中里 猪一	佐藤 常雄
第9期	議会運営	2. 3. 13～ 3. 12. 18	10	2. 3. 13～ 3. 12. 18	和田 国吉	大西 宣也
	災害対策	2. 3. 13～ 6. 3. 8	11	2. 3. 13～ 4. 3. 12	渋谷 佳久	盛永 勝也
4. 3. 13～ 6. 3. 8			小宮晟太郎	黒木 一文		
第10期	災害対策	6. 3. 10～10. 3. 8	11	6. 3. 10～ 8. 3. 8	小宮晟太郎	渋谷 敏穎
				8. 3. 11～10. 3. 8	斎藤 勇	岩瀬 雄二

	名 称	設 置 期 間	定 数	任 期	委 員 長	副 委 員 長
第 11 期	災 害 対 策	10. 3. 10～14. 3. 8	11	10. 3. 10～12. 3. 10 12. 3. 10～14. 3. 8	井上 勉 藤田 学	殿村 健一 岩下 正充
第 12 期	災 害 対 策	14. 3. 12～16. 3. 11	10	14. 3. 12～16. 3. 11 14. 3. 12～15. 12. 3 15. 12. 4～16. 3. 11	高嶋 均	大塚 信彰 熊沢あやり
		16. 3. 12～18. 3. 8	11	16. 3. 12～18. 3. 8	佐藤伸一郎	新井 克尚
第 13 期	災 害 対 策	18. 3. 10～22. 3. 8	10	18. 3. 10～20. 3. 9 20. 3. 10～22. 3. 8	若林 章喜 市川 勝斗	佐々木智子 山下 哲也
	町 田 市 議 会 5 0 年 史 編 さん	19. 4. 11～21. 3. 30	7	19. 4. 11～20. 2. 27 19. 4. 11～20. 2. 28	黒木 一文 井上 正行	田中 修一 友井 和彦
				20. 3. 10～21. 3. 30		
第 14 期	災 害 対 策	22. 3. 10～26. 3. 8	11	22. 3. 10～24. 3. 11 24. 3. 12～26. 3. 8	佐藤伸一郎 上野 孝典	上野 孝典 池川 友一
第 15 期	災 害 対 策	26. 3. 11～30. 3. 8	10	26. 3. 11～28. 3. 10 28. 3. 11～30. 3. 8	三遊亭らん丈 渡辺巖太郎	あさみ美子 石井くにのり
第 16 期	災 害 対 策	30. 3. 12～R4. 3. 8	10 30.9.26 から 11	30. 3. 12～R2. 3. 17	松葉ひろみ 木目田英男	わたべ真実 おぜき重太郎
				R2. 3. 18～R4. 3. 8		
第 17 期	災 害 対 策	R4. 3. 10～	12	R4. 3. 10～R6. 3. 10 R6. 3. 11～	今村 るか 藤田 学	佐々木智子 小野寺まなぶ

(6) 議員・市長等の報酬等月額一覧

(単位：円)

改定年月日	議 長	副 議 長	議 員	市 長	副 市 長	教 育 長
S. 33. 2. 1	—	—	—	—	—	40,000以上
33. 3. 9	23,000	20,000	18,000	—	—	—
33. 4. 1	—	—	—	60,000	40,000～ 50,000	—
36. 4. 1	—	—	—	75,000～ 85,000	60,000～ 70,000	60,000以上
37. 4. 1	40,000	35,000	30,000	80,000～ 90,000	65,000～ 75,000	65,000以上
38. 4. 1	—	—	—	105,000	90,000	75,000
38. 7. 1	45,000	40,000	35,000	—	—	—
39. 4. 1	—	—	—	120,000	100,000	85,000
40. 4. 1	70,000	60,000	50,000	135,000	115,000	100,000
43. 9. 1	83,000	73,000	65,000	175,000	145,000	120,000
46. 4. 1	120,000	100,000	90,000	—	180,000	155,000
48. 4. 1	150,000	130,000	120,000	—	240,000	220,000
49. 4. 1	175,000	145,000	135,000	340,000	310,000	280,000
50. 4. 1	210,000	180,000	170,000	410,000	360,000	330,000
51. 10. 1	250,000	220,000	210,000	470,000	420,000	400,000
53. 4. 1	300,000	270,000	250,000	540,000	480,000	460,000
54. 9. 1	320,000	290,000	275,000	570,000	510,000	490,000
55. 10. 1	350,000	320,000	300,000	590,000	530,000	510,000
57. 6. 1	380,000	350,000	330,000	650,000	580,000	555,000
59. 12. 1	405,000	375,000	355,000	690,000	610,000	570,000
61. 10. 1	440,000	405,000	385,000	745,000	655,000	610,000
63. 4. 1	467,000	430,000	410,000	790,000	695,000	647,000
H. 2. 10. 1	515,000	474,000	452,000	870,000	760,000	707,000
4. 10. 1	570,000	525,000	500,000	950,000	830,000	770,000
7. 4. 1	596,000	549,000	523,000	993,000	867,000	804,000
9. 1. 1	640,000	580,000	550,000	1,060,000	900,000	820,000

※特例条例による減額等は含まず。

(7) 議員の期末手当率一覧

年	3月期	6月期	12月期	年	3月期	6月期	12月期
S 3 3		0.5	1.0	4	0.55	2.2	2.7
3 4		1.0	1.0	5	0.5	2.2	2.6
3 5		1.0	1.5	6	0.5	2.2	2.6
3 6		2.0	3.0	7	0.4	2.2	2.5
3 7		1.43	2.0	8	0.5	2.2	2.5
3 8		1.5	2.5	9	0.5	2.2	2.5
3 9		1.8	3.0	1 0	0.5	2.2	2.5
4 0		1.4	2.2	1 1	0.5	2.2	2.5
4 1		1.8	2.7	1 2	0.2	2.2	2.5
4 2		1.5	3.0	1 3	0.5	2.2	2.5
4 3		2.0	3.0	1 4	0.5	2.2	2.5
4 4		2.0	3.0	1 5	0.5	2.2	2.5
4 5		2.0	3.01	1 6	0.5	2.2	2.5
4 6		2.05	3.1	1 7	0.5	2.2	2.5
4 7		2.11	3.2	1 8	0.5	2.2	2.5
4 8		2.3	3.4	1 9	0.5	2.2	2.5
4 9		2.5	3.89	2 0	0.5	2.2	2.5
5 0		2.4	3.2	2 1	0.5	2.2	2.5
5 1		2.2	3.2	2 2	0.5	2.2	2.5
5 2		2.25	3.2	2 3	0.5	2.2	2.5
5 3		2.22	3.2	2 4	0.5	2.2	2.5
5 4		2.2	3.13	2 5	0.5	2.2	2.5
5 5		2.0	3.24	2 6	0.5	2.1	2.4
5 6		2.225	2.95	2 7	0.4	2.1	2.4
5 7		2.185	2.95	2 8	0.4	2.1	2.4
5 8		2.17	2.82	2 9	0.4	2.1	2.4
5 9		2.08	2.72	3 0	0.4	2.1	2.4
6 0		2.01	2.64	R元	0.4	2.1	2.4
6 1		1.9	2.55	2	0.4	2.45	2.45
6 2		1.9	2.5	3		2.45	2.45
6 3		1.9	2.5	4		2.45	2.45
H元		1.9	2.5	5		2.45	2.45
2		2.2	2.6	6		2.45	2.45
3	0.55	2.2	2.7	7		2.45	2.45

※平成2年6月期からは、報酬の月額及び報酬の月額に20%を乗じて得た金額の合計に、それぞれの割合を乗じた額

町田市議会議員の政治活動における虚礼廃止に関する要綱

平成元年12月1日制定
平成2年2月1日改正

この要綱は、「町田市議会議員の政治活動における虚礼廃止に関する決議」（平成元年12月1日決議）に基づき、公職選挙法の規定にかかわらず、すべてにわたり清潔な政治活動を行うことにより市民の信託に応えるために制定するものである。

記

1. 企業・団体からの金品等の寄附は受けない。
2. 資金集めを目的としたパーティー・事業等を行わない。
3. 町内会・自治会、その他市の財政援助団体並びに公的行事への金品等の提供及び祝電・弔電を行わない。
4. 新聞等への個人名刺広告の掲載を行わない。
5. 答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、寒中見舞状、暑中見舞状その他これに類するあいさつ状（電報その他これに類するものを含む。）は廃止する。

附 則

この要綱は、平成元年12月1日から適用する。

議 会 年 報

— 令和7年議会活動状況 —

発行 令和8年3月

編集 町田市議会事務局

所在地 町田市森野2-2-22

電話 (042)724-2171 (直)

刊行物番号 25-57

印刷 [市内印刷]
